

(様式第 9)

筑大病総調第 13-46 号
平成 25 年 10 月 4 日

関東信越厚生局長 殿

開設者名
筑波大学長 永田 恭

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	128.5 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	518人	8.7人	526.7人	看護補助者	70人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	14人	0.2人	14.2人	理学療法士	22人	臨床検査技師	69人
薬剤師	43人	6人	48.2人	作業療法士	9人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	34人	5人	36.1人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	684人	40人	708.9人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	23人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	170人
管理栄養士	8人	0人	8.0人	診療放射線技師	48人	その他の職員	28人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	614.9人	9.0人	623.9人
1日当たり平均外来患者数	1467.8人	62.5人	1530.3人
1日当たり平均調剤数			1535 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
陽子線治療	341人
末梢血管細胞による血管再生治療	0人
EBウイルス感染症迅速診断(リアルタイムPCR法)	8人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	8人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	12人
前眼部三次元画像解析	46人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児尿路・羊水腔シャント術	1人
内視鏡下甲状腺切除術	21人
パクリタキセル静脈内投与	5人
経胎盤的抗不整脈薬投与療法	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	5人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1)「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	76人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	97人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	131人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・全身性エリテマトーデス	482人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	113人
・再生不良性貧血	50人	・混合性結合組織病	49人
・サルコイドーシス	74人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	39人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	264人	・網膜色素変性症	40人
・特発性血小板減少性紫斑病	48人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	71人	・肺動脈性肺高血圧症	15人
・潰瘍性大腸炎	197人	・神経線維腫症	15人
・大動脈炎症候群	46人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	23人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	40人	・慢性血栓性肺高血圧症	13人
・脊髄小脳変性症	64人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	62人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	162人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	15人
・後縦靭帯骨化症	32人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	19人	・ミトコンドリア病	20人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	62人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	28人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	107人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・顎顔面補綴	・
・インプラント義歯	・
・胎児胸腔-羊水腔シャントチューブ留置術	・
・超音波骨折治療法	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・エキシマレーザー冠動脈形成術	・
・先天性難聴の遺伝子診断	・
・大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週9回程度
部 検 の 状 況	部検症例数 31例 / 部検率 10.6%

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
心不全進展における慢性炎症の機序解明と新たな治療法の探索	青沼 和隆	循環器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
心磁図法による虚血性心疾患早期診断法の開発	渡辺 重行	循環器(内)診療グループ	156万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
心肥大から心不全発症におけるRNAポリメラーゼの脱リン酸化調節による役割解明	本間 覚	循環器(内)診療グループ	65万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
心臓再同期療法適応診断におけるスペクトルトラッキング法の有用性評価に関する試験	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ	13万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
世界初の高血圧性誘発モデルによる大動脈解離の分子病態解明と臨床病態マーカーの開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	78万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
新規肥満モデルが血圧上昇をきたすメカニズムの解明と高血圧の予防・治療への応用	酒井 俊	循環器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
左室駆出率を超える心不全指標としての左室長軸収縮率の臨床的意義の研究	石津 智子	循環器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
難治性心疾患の新規原因遺伝子の網羅的探索	村越 伸行	循環器(内)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
東日本大震災が及ぼす致死性不整脈発現への影響	関口 幸夫	循環器(内)診療グループ	208万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
顆粒球コロニー刺激因子の術前投与による致死的不整脈抑制の検討	下條 信威	循環器(内)診療グループ	221万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
肥満による心房細動発症機序の解明	許 東洙	循環器(内)診療グループ	273万円	補 科学研究費補助金 (若手研究B) 委
放射光血管造影を用いた転移性肺腫瘍の早期診断の可能性	梶原 謙	循環器(外)診療グループ	390万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
ワーファリン内服患者のためのビタミンKオフ納豆風味食品の開発と臨床効果検定	平松祐司	循環器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 委
TFPI・アンチトロンビン・トロンボモジュリンによる体外循環中の複合的抗凝固戦略	平松祐司	循環器(外)診療グループ	240万円	補 科学研究費補助金 (基盤B) 委

小計14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
臨床応用を目指した低侵襲小児心機能モニターの開発	金本真也	循環器(外)診療グループ	170万円	補 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 委
放射光微小血管撮影法による肺細動脈シアーストレスの計測と肺高血圧症研究への応用	徳永千穂	循環器(外)診療グループ	190万円	補 科学研究補助金(若手研究B) 委
MDM2を標的とした新規胃癌治療薬の開発	兵頭一之介	消化器(内)診療グループ	140万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究C) 委
癌選択的増殖型アデノウイルスを用いた胆道癌の遺伝子化学療法の有効性と安全性の評価	安部井誠人	消化器(内)診療グループ	117万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究C) 委
慢性肝疾患の予防、治療法の確立を目指した新規鉄排出トランスポーターの探索	溝上裕士	消化器(内)診療グループ	208万円	補 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究) 委
大腸癌におけるDNAメチル化を指標とした薬剤胎生期所の解明	鈴木英雄	消化器(内)診療グループ	91万円	補 科学研究費補助金 (基盤研究C) 委
S1P・ヒアルロン酸修飾リポソームを用いた難治性肝障害に対する新規治療薬の開発	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	330万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
アンチセンスRNAによる肝癌に対する新規診断法の開発とテラーメイド治療への応用	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
磁性ナノ粒子+腫瘍浸透ペプチドによる難治固形癌の電磁誘導焼灼治療	小田竜也	消化器(外)診療グループ	490万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
抗がんナノ粒子製剤の効果を増強するマクロファージ制御技術の開発	小田竜也	消化器(外)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
血小板を用いた縫合不全をゼロにする手技の開発研究	寺島秀夫	消化器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
血小板・クッパー細胞相互作用に着目した肝虚血再灌流障害抑制法の開発	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
脾臓摘出による新しい肝細胞癌発癌抑制治療法の開発	渡辺基信	消化器(外)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
アンチセンスRNAによる大腸癌の新規診断法の開発とサイレンシング治療への応用	小林昭彦	消化器(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
脂肪酸合成阻害剤を用いた新規肝細胞癌治療法の開発	橋本真治	消化器(外)診療グループ	140万円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
大腸癌の発生に関わるアンチセンスRNAの機能解析と血液を用いた新規診断法の開発	高野恵輔	消化器(外)診療グループ	180万円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
血中anti-sense解析による膵がんの早期診断と層別化治療の開発・研究	榎本剛史	消化器(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 委
レチノイン酸修飾アデノシン封入リボソームを用いた肝硬変に対する新規治療薬の開発	田村孝史	消化器(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 委
多発肝のう胞症に対する治療ガイドライン作成と試料バンクの構築	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	1170万円	補 厚生労働省 委
経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止、病態解明、遺伝的多様性及び治療に関する研究	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	200万円	補 厚生労働省 委
膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	50万円	補 厚生労働省 委
総合的ゲノム情報による難治性喘息多様性の分子機構の解明	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	740万円	補 文部科研補助金 基盤研究(B) 委
喫煙行動による影響を及ぼす遺伝素因の解明	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	377万円	補 文部科研補助金 挑戦的萌芽研究 委
気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	100万円	補 厚生科研補助金 分担 委
気道炎症、気流閉塞、および気道リモデリングに関するそれぞれの客観的指標を用いたぜん息コントロール状態評価法の確立	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	741万円	補 委 独立行政法人環境 再生保全機構
呼吸器感染症生体応答機構、特に転写応答機構の解明とその治療への応用	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	190万円	補 科学研究費補助金、 基盤研究(C) 委
新たなEGFR-TKI耐性機構としてのNrf2-Keap1システム-その遺伝子診断や治療への応用	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	75万円	補 委 金沢大学がん進展 制御研究所共同研究課題
大気汚染やディーゼル排気曝露が喘息の発症増悪に及ぼす影響に関する研究調査	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	75万円	補 委 財団法人日本自動車 研究所
炎症性閉塞性疾患発症に関わる危険因子の解明-前向きコホートによる総括的研究-	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ	91万円	補 文部科研補助金 基盤研究(C) 委
Thバランスの制御による難治性喘息に対する研究	森島 裕子	呼吸器(内)診療グループ	170万円	補 文部科研補助金 基盤研究(C) 委
新規サイトカインIL-17Fの気道モデリングへの関与	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ	120万円	補 文部科研補助金 基盤研究(C) 委
狭帯域光観察を用いた肺癌胸膜浸潤・胸膜中皮腫病変の術中診断と浸潤メカニズムの解明	佐藤幸夫	呼吸器(外)診療グループ	169万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気嚢に対する新しい治療ストラテジーの構築	酒井光昭	呼吸器(外)診療グループ	104万円	補 科学研究費補助金(基盤C) 委
白血球の複合的薬理制御による体外循環後肺傷害に対する新たな予防法の開発	後藤行延	呼吸器(外)診療グループ	150万円	補 科学研究費補助金(基盤B) 委
低分子量エポキシ化合物TGA固定自己心膜の心血管補填材料としての適性に関する研究	後藤行延	呼吸器(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究) 委
細胞接着分子CADM1を分子標的とする小細胞肺癌の治療法の開発	菊池慎二	呼吸器(外)診療グループ	120万円	補 科学研究補助金(若手研究B) 委
かかりつけ医/非腎臓専門医と腎臓専門医の協力を促進する慢性腎臓病患者の重症化予防のための診療システムの有用性を検討する研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	3,250万円	補 厚生労働科学研究費補助金
進行性腎障害に関する調査研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	500万円	補 厚生労働科学研究費補助金
糖尿病診療均てん化のための標準的診療マニュアル作成とその有効性の検証ーガイドラインを実用化するためのシステム・体制整備の視点から	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	75万円	補 厚生労働科学研究費補助金
特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病(CKD)地域連携システムの制度設計	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	70万円	補 厚生労働科学研究費補助金
慢性腎臓病の進行抑制のための医薬連携システム構築	斎藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	30万円	補 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)))
CXCR4-β arrestin2-ERK経路を利用した膀胱癌早期診断治療法の開発	西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	110万円	補 文科省科研費 委
Ral/RalGAP経路を介した尿路性器癌における炎症性発癌機序の解明	西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	20万円	補 文科省科研費 委
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除後の治療方針の確立に関する研究	西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	13万円	補 厚生省科研費 委
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	西山博之	腎泌尿器(外)診療グループ	40万円	補 厚生省科研費 委
糖尿病患者の動脈硬化症発症進展における新規予測因子に関する検討	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 委
脂肪酸伸長酵素Elovl6を標的とした臓器脂肪質の変容による代謝制御機構	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	507万円	補 科学研究費補助金 委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
シロ糖嗜好性形成における脂肪酸伸長酵素Elovl6の役割	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	290万円	補 科学研究費補助金 委
細胞内脂肪酸組成制御機構の解明と高次脳機能および精神疾患における役割	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	890万円	補 科学研究費補助金 委
NASH合併2型糖尿病患者でのElovl-6・SCD-1活性指標と病態の関連性の検討	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	100万円	補 Diabetes Masters Conference 委
難治性疾患等克服研究事業 原発性高脂血症に関する調査研究	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	105万円	補 厚生労働科学研究費補助金 委
脂肪酸伸長酵素Elovl6による臓器脂質の質的変容と代謝病態の多臓器的展開	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	590万円	補 科学研究費補助金 委
代謝シグナルが投射されるゲノム領域の同定と転写環境調節機構の解明	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,250万円	補 科学研究費補助金 委
食事栄養素が導く新規転写因子CREBH活性化と生活習慣病改善の分子機構の解明	中川嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	470万円	補 科学研究費補助金 委
横紋筋融解症の原因としてのスタチンと筋肉内コレステロール欠乏の違い	中川嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	140万円	補 科学研究費補助金 委
肝臓と食欲をつなぐ肝臓特異的発現転写因子CREBHと分泌ホルモンFGF21	中川嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	270万円	補 科学研究費補助金 委
脂肪酸伸長酵素Elovl6欠損マウスの2型糖尿病の発症・進展抑制機序の解明	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 委
自己免疫疾患における調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	9600万円	補 厚生労働省 委
関節リウマチの関節破壊機序の解明と関節破壊「ゼロ」を目指す治療法確立に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	160万円	補 厚生労働省 委
IgG4関連疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	110万円	補 厚生労働省 委
自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成及び新生児ループスの発症リスクの軽減に関する研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	30万円	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	160万円	補 文部科学省 委
スギ花粉症以外の疾患治療薬候補となる農作物の開発	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	580万円	補 農林水産省 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
免疫疾患におけるT細胞サブセットの機能異常とその修復法の開発	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委
関節炎におけるマクロファージと自己免疫応答相互の制御機構の解明	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	150万円	補 文部科学省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	65万円	補 厚生労働省 委
インターロイキン-21の分子機構の解明とその制御による免疫疾患の新規治療法の検討	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	150万円	補 文部科学省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群でのM3ムスカリン作働性アセチルコリン受容体に対する免疫応答	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	170万円	補 文部科学省 委
転写因子発現による自己免疫性関節炎の制御機構に関する解析	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	160万円	補 文部科学省 委
HLA不適合血縁者間移植の安全性および有効性向上のための包括的研究	千葉 滋	血液診療グループ	70万円	補 厚生労働省 委
不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究	千葉 滋	血液診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
特発性造血障害に関する調査研究	千葉 滋	血液診療グループ	60万円	補 厚生労働省 委
ヒト造血幹細胞の同定と生体内機能解析システムの構築	千葉 滋	血液診療グループ	1080万円	補 文部科学省 委
造血細胞運命決定においてHes1の可逆的短時間発現変動が果たす役割	千葉 滋	血液診療グループ	559万円	補 科学研究費補助金 新学術領域 委
造血器腫瘍におけるTET2遺伝子異常とエピジェネティック制御の解析	千葉 滋	血液診療グループ	715万円	補 科学研究費補助金 基盤研究B 委
骨髄異形成症候群の病態解析-骨髄と神経ネットワーク	千葉 滋	血液診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽 委
Hes-1による骨髄性白血病幹細胞の発生および維持の機序の解明	坂田 麻実子 (柳元)	血液診療グループ	195万円	補 科学研究費補助金 若手研究B 委
血液細胞のHes-1発現様式及びその破綻が自己複製・分化に与える影響の解明	横山 泰久	血液診療グループ	195万円	補 科学研究費補助金 若手研究B 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
巨核球・血小板分化における転写因子HES1が担う制御機構の解明	錦井 秀和	血液診療グループ	208万円	補 科学研究費補助金 若手研究B 委
移植片対宿主病の早期診断を可能とするバイオマーカーの探索	栗田 尚樹	血液診療グループ	208万円	補 科学研究費補助金 若手研究B 委
抹消血を用いたDNA修復活性評価法の確立	鈴木 和己	血液診療グループ	169万円	補 科学研究費補助金 基盤研究C 委
造血器におけるTET2の機能解析およびメチル化への影響の解明	武藤 秀治	血液診療グループ	60万円	補 科学研究費補助金 特別研究員奨励費 委
PTSD及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	9,100万円 (うち間接経費:2,100万円)	補 厚生労働省 委
J-ADNIコアスタディ:画像・バイオマーカーの解析・活用と臨床研究体制の確立	朝田 隆	精神神経診療グループ	300万円	補 厚生労働省 委
複合型蛋白質蓄積症としての認知症疾患の病態解明を旨とした病理生化学的研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	195万円 (うち間接経費:45万円)	補 文部科学省 委
筋萎縮性側索硬化症の分子病態解明と新規治療法創出に関する研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	500万円	補 厚生労働省 委
NIRSを用いた精神疾患の早期診断についての実用化研究	根本 清貴	精神神経診療グループ	140万円	補 厚生労働省 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚藤男(研究代表者) 川内康弘(研究分担者)	皮膚診療グループ	3328万	補 厚生労働省 委
日本人の疫学的特徴に基づいた皮膚悪性腫瘍の診断治療法の開発	大塚藤男(研究分担者)	皮膚診療グループ	50万円	補 委 国立がん研究センター
酸化ストレス応答因子Nr2f2が光老化および表皮角化に果たす役割の解明	川内康弘(研究代表者)	皮膚診療グループ	180万円	補 独立行政法人日本 学術振興会(基盤(C)) 委
表皮特異的転写因子からのアプローチによる誘導性表皮幹細胞(iES細胞)の樹立	石井良征(研究代表者) 川内康弘(研究分担者)	皮膚診療グループ	140万円	補 独立行政法人日本 学術振興会(挑戦的萌芽研究) 委
神経線維腫症I型の抗TNF- α 抗体による新規治療の開発	中村泰大(研究代表者)	皮膚診療グループ	80万円	補 独立行政法人日本 学術振興会(若手研究(B)) 委
皮膚悪性腫瘍におけるKeap1-Nrf2システム異常の検討	古田淳一(研究代表者)	皮膚診療グループ	80万円	補 独立行政法人日本 学術振興会(若手研究(B)) 委
ROR γ t発現がCD4 $^{+}$ T細胞の誘導に及ぼす影響の研究	藤澤康弘(研究代表者)	皮膚診療グループ	100万円	補 独立行政法人日本 学術振興会(若手研究(B)) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
ジペプチジルペプチダーゼ4 活性からみた小児糖尿病の 病態および治療に関する研 究	鴨田 知博	小児(内)診療グループ	2600千円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
胎児・新生児期に発症する遺 伝性不整脈の遺伝的背景と 臨床的表現型に関する研究	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	2340千円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
心磁図を用いた心拍変動解 析による胎児・新生児期の自 立神経発達、予後予測の研 究	加藤 愛章	小児(内)診療グループ	1560千円	補 科学研究費補助金 (研究活動スタート支援) 委
入院児への心理的支援にお ける非侵襲生理計測を用いた ストレス評価に関する研究	竹田 一則	小児(内)診療グループ	1040千円	補 科学研究費補助金 基盤(C) 委
Small for gestational age児の キャッチアップに関する研究	齋藤 誠	小児(内)診療グループ	1040千円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
新規薬剤を用いた日本人小 児2型糖尿病・肥満の新たな 治療法の開発	藤山 聡	小児(内)診療グループ	500千円	森永奉仕会研究奨励金
小児期からの消化器系希少 難治性疾患群の包括的調査 研究とシームレスなガイドラ イン作成	増本 幸二	小児(外)診療グループ	60万円	補 厚生労働省科学研 究費(難治性疾患克服 研究事業) 委
先天性横隔膜全欠損に対す る遺伝子導入及び再生医療 を応用した新規治療の開発	増本 幸二	小児(外)診療グループ	10万円	補 文部科研 委
先天性代謝異常症及び凝固 異常症に対する乳歯幹細胞を 用いた肝細胞を用いた肝再 生治療の開発	増本 幸二	小児(外)診療グループ	11万円	補 文部科研 委
再生医療的アプローチを用い た新しい横隔膜修復術の開 発	瓜田泰久	小児(外)診療グループ	100万円	補 科学研究費(基盤研 究C) 委
自家臍帯幹細胞シート移植に よる先天性横隔膜ヘルニアに おける低形成肺の再生	新開統子	小児(外)診療グループ	50万円	補 科学研究費(挑戦的 萌芽研究) 委
創傷治癒過程における酸化ス トレス対応タンパク質 Trim16 の分子機能	足立孝二	形成診療グループ	20万円	補 科研費基盤研究(C) 委
皮膚創傷治癒過程における Keap1-Nrf2システムの役割と 新規癒痕予防薬の開発	関堂充	形成診療グループ	50万円	補 科研費基盤研究(B) 委
悪性黒色腫を標的とするハイ ブリッドペプチドによる新しい バイオ療法の研究開発	関堂充	形成診療グループ	20万円	補 科研費挑戦的萌芽 委
運動神経信号付加は本当に 起きているのか?	関堂充	形成診療グループ	30万円	補 科研費基盤研究(B) 委
皮膚移植後リンパ流を可視化 する! ~光イメージングを用 いた再生メカニズムの解明	関堂充	形成診療グループ	20万円	補 科研費基盤研究(C) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
運動実践による自然免疫活性化の制御と肥満関連脂肪性肝疾患の進展予防	富樫真二	形成診療グループ	20万円	補 科研費挑戦的萌芽委
新しいメタボリックシンドロームモデルマウスを用いた創傷治療メカニズムの解析	佐々木薫	形成診療グループ	30万円	補 科研費基盤研究(C)委
アミロイドーシスに関する調査研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	150万円	補 厚生労働省委
アルツハイマー病の分子病態とミトコンドリア障害	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	208万円	補 文部科学省委
TDP-43とRNA編集に関連した孤発性筋萎縮性側索硬化症の発症に関与するmicroRNAの探索	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	100万円	補 ブレインサイエンス振興財団委
認知症患者のバランス障害メカニズムの解明	中馬越 清隆	脳神経(内)診療グループ	170万円	補 文部科学省委
平成24年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシン酸の生体影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	1,470万円	補 委 環境省
平成24年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフィ(123-I-IMP-SPECT)の	石井一弘	脳神経(内)診療グループ	630万円	補 委 環境省
治療の実施に関する研究「L-アルギニン」	石井 亜紀子	脳神経(内)診療グループ	30万円	補 厚生労働省委
神経内視鏡手術における新規凝固止血機器の研究開発	阿久津博義	脳神経(外)診療グループ	50万円	補 内視鏡医学研究振興財団研究助成金委
遺伝子修飾した血管内皮前駆細胞(EPC)によるワクチン療法の開発	石川栄一	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金(若手B)委
繊維芽細胞成長因子徐放性頭蓋骨延長器による次世代骨延長法の開発	井原 哲	脳神経(外)診療グループ	221万円	補 度科学研究費補助金(若手B)委
人工腫瘍幹細胞を用いた神経膠芽腫に対する抗血管ニッチ療法	高野晋吾	脳神経(外)診療グループ	70万円	補 日本学術振興会委
脳腫瘍に対する血管新生抑制療法の展開:新規治療法と抵抗性の克服	高野晋吾	脳神経(外)診療グループ	160万円	補 科学研究費補助金(基盤B)委
準単色LCS-X線と標的指向性DDSを組み合わせた相乗的癌治療効果に関する研究	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ	199万円	補 科学研究費補助金(基盤B)委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
環境応答性ナノ粒子を用いた脳虚血治療の研究	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ	240万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
血管内皮選択的BNCTを用いた脳血管再狭窄予防法の開発	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	286万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
不活化ウイルス粒子に自家腫瘍ワクチンを併用した脳腫瘍に対する新規免疫療法の確立	松田真秀	脳神経(外)診療グループ	143万円	補 科学研究費補助金 (若手B) 委
ヒト癌細胞におけるHJV-E作用機構の解明とがん治療臨床研究の実現	松村 明	脳神経(外)診療グループ	500万円	補 独立行政法人医薬基盤研究所受託研究費 委
頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化	松村 明	脳神経(外)診療グループ	1660万円	補 厚生労働科学研究費 長寿科学総合 委
フラーレン粒子と中性子捕捉反応を用いたがん治療の基礎的検討	松村 明	脳神経(外)診療グループ	130万円	補 挑戦的萌芽研究 委
包括型脳外科研究推進支援ネットワーク(正常拠点)	松村 明	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 文部科学省新学術領域研究 委
細胞周期同調下のプレローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	山本哲哉	脳神経(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
レドックス制御による 中性子捕捉療法に用いるホウ素化合物取込み改善に関する研究	吉田文代	脳神経(外)診療グループ	91万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
次世代偏光干渉断層計による高機能光三次元バイオプシーの臨床実用化に関する研究	大鹿 哲郎	眼診療グループ	338 万円	補 日本学術振興会 委
角膜ジストロフィーの分子メカニズムに基づく光線力学療法および予防点眼液の開発	加治 優一	眼診療グループ	260 万円	補 日本学術振興会 委
組織シーラントを用いたガスタンボナーデ不要の網膜剥離手術の有効性、安全性の検討	岡本 史樹	眼診療グループ	247 万円	補 日本学術振興会 委
薄暮時実用視力計の開発とその臨床的有効性の評価	平岡 孝浩	眼診療グループ	260 万円	補 日本学術振興会 委
固有振動数解析と逆解析を用いた次世代型非接触式眼圧計の開発	石井 晃太郎	眼診療グループ	65 万円	補 日本学術振興会 委
活動性が高い血管内皮前駆細胞の網膜色素変性症モデルマウスへの硝子体注の効果の検討	福田 慎一	眼診療グループ	70 万円	補 日本学術振興会 委
子宮頸癌予防のための次世代ワクチンの開発研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	420万円	補 文部科学省(基盤研究(B)) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
子宮頸癌の病態と原因HPV型について;特にHPV18に注目して	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	130万円	補 文部科学省(挑戦的萌芽研究) 委
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	2,400万円	補 厚生労働省(がん臨床研究) 委
妊娠・授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	吉川裕之	婦人・周産期診療グループ	240万円	補 厚生労働省(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合) 委
地域産科医療としての先天性心臓疾患胎児健康状態評価システムの新規構築	濱田洋実	婦人・周産期診療グループ	130万	補 文部科学省(基盤研究(C)) 委
治療前婦人科がん不顕性血栓塞栓症発見法と顕性化予防法の確立および発生機序の解明	佐藤豊実	婦人・周産期診療グループ	60万円	補 文部科学省(基盤研究(C)) 委
オーダーメイド化学療法を目指した抗癌剤感受性検査の判定基準の策定	沖 明典	婦人・周産期診療グループ	140万円	補 文部科学省(基盤研究(C)) 委
個別化治療を目指した子宮体癌の遺伝子変異プロファイリング	水口 剛雄	婦人・周産期診療グループ	130万	補 文部科学省 委
血清疫学的手法によるヒトパピローマウイルス感染の診断と子宮頸部前癌病変の管理	越智 寛幸	婦人・周産期診療グループ	140万	補 文部科学省(若手研究(B)) 委
母体のアデノ随伴ウイルス感染様式・ウイルス血清型解析と有害妊娠転帰の関連性の解明	小倉 剛	婦人・周産期診療グループ	135万	補 文部科学省(基盤研究(C)) 委
自己相補型アデノ随伴ウイルスベクターによる胎児フェニルケトン尿症マウスの治療戦略	八木 洋也	婦人・周産期診療グループ	180万	補 文部科学省(若手研究(B)) 委
蝸牛障害におけるステロイド、各種リビッドメディエータの作用機序の検討	田淵経司	耳鼻咽喉診療グループ	170万円	補 科学研究費補助金基盤C
急性高度感音難聴に関する調査研究	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	80万円	補 厚生科学研究費「難治性疾患克服事業」
前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子解析に基づく新診断基準作成	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	40万円	補 厚生科学研究費「難治性疾患克服事業」
神経皮膚症候群に関する調査研究事業	原 晃	耳鼻咽喉診療グループ	30万円	補 厚生労働省科学研究費
硫化水素のマウス心停止モデルを用いた心肺蘇生後の硫化水素による人工冬眠療法の臓器	中山 慎	麻酔診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金若手B 委

小計15件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
麻酔薬の扁桃体中心核抑制性神経回路への作用の解明	山本 純偉	麻酔診療グループ	143万円	補 科学研究費補助金 (C) 委
術後痛対策におけるニューロステロイドの可能性	福田 妙子	麻酔診療グループ	65万円	補 科学研究費補助金 (C) 委
マイクログリアに焦点をあてた術後の高次機能障害の発症機序の解明とその予防法の検討	山下 創一郎	麻酔診療グループ	78万円	補 科学研究費補助金 (C) 委
口腔癌に対する血中・唾液中microRNAによる診断,治療法の開発	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	130万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
口腔癌の腫瘍表面分子を標的とするキメラペプチドによる新しいバイオ療法の研究開発	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	923万円	補 科学研究費補助金 (基盤B) 委
口腔悪性腫瘍の浸潤・転移を制御する糖鎖分子の探索と分子標的治療への応用	鬼澤 浩司郎	歯・口腔診療グループ	442万円	補 科学研究費補助金 (基盤B) 委
CASKノックアウトマウスを用いた口蓋裂形成シグナルの解明	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	169万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
骨分化能の高い歯髄由来間葉系幹細胞の単離・同定と効率的な顎骨再生への応用	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	234万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
MicroRNAと標的遺伝子による口腔癌の網羅的ネットワークの解明と治療法の開発	篠塚 啓二	歯・口腔診療グループ	221万円	補 科学研究費補助金 (若手B) 委
口腔癌におけるECMタンパクDPTを中心とした転移抑制機構の解明	大和地 正信	歯・口腔診療グループ	182万円	補 科学研究費補助金 (若手B) 委
生活環境・職場ストレス調査	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	50万円	補 筑波研究学園都市 交流協議会 委
ロボット技術を応用した歩行リハビリテーションプログラムの開発	柳 久子	保健衛生外来診療グループ	520万円(うち間接経費 120万円)	補 厚生労働科学研究 費
心的外傷後ストレス障害に対する認知処理療法の効果検証と治療メカニズムの解明	森田 展彰	保健衛生外来診療グループ	200万円	補 科学研究費助成事業 基盤研究(B)
ソーシャルファームにおける復職支援の有効性に関する調査研究	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	150万円	補 科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究
うつ病の病態と休職制度の検討に関する独自の全国比較研究-金銭補償期間の重要性-	笹原 信一郎	保健衛生外来診療グループ	140万円	補 科学研究費助成事業 若手研究(A)
血管内皮障害を伴う敗血症の新しい診断法の確立	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	160万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
二酸化炭素中毒死の死因究明と急性期治療法の検討	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	157万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
顆粒球コロニー刺激因子の術前投与による致死的不整脈抑制の検討	下條 信威	救急・集中治療診療グループ	221万円	補 科学研究費補助金 (基盤C) 委
生体侵襲・生体反応相互作用から生じる臓器不全の病態解明とその予防・治療体系の確立	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	400万円	補 科学研究費補助金 基盤(A) 委
南アジアと日本における若年冠動脈疾患患者の新しい危険因子の同定とその予防法の開発	水谷 太郎	救急・集中治療診療グループ	250万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
敗血症性多臓器不全の微小循環系異常に対するVEGFを基軸とした診断治療法の開発	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	194万円	補 科学研究費補助金 若手研究(B) 委
バングラデシュ農村女性のメタボリック症候群の有病率と動向一疫学および遺伝学的研究	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	75万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
より適切な母子保健環境をバングラデシュ農村に齎すマイクロインシエアランスの設計	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	470万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
バングラデシュ農村地域の慢性腎臓病の特徴とリスク因子一疫学及び病態学的研究一	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	220万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
アジアの更年期女性の糖尿病と心血管系疾患のリスク因子としてのVEGFの有用性	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	280万円	補 科学研究費補助金 基盤(B) 委
敗血症におけるHIF-1 α を介した低酸素応答と凝固炎症反応連関	ジェスミン サプリナ	救急・集中治療診療グループ	145万円	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 委
極小量子ビームを用いた細胞内元素分布解析による疾患機序の解明	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	377万円	補 科学研究費 挑戦的 萌芽研究 委
持続的發展を見据えた「分子追跡放射線治療装置の開発研究」	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	150万円	補 委 北海道大学
高エネルギー陽子ビームを用いた次世代型粒子線治療のための基盤研究	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	540万円	補 科学研究費基盤研究(B) 委
画像処理用並列演算素子に最適化された粒子線線量分布計算法の開発とその精度評価	柴 武二	放射線腫瘍科診療グループ	182万円	補 科学研究費基盤研究(C) 委

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
陽子線のDNA損傷メカニズムと腫瘍免疫賦活効果を応用した新たながん治療法の研究	坪井康次	放射線腫瘍科診療グループ	598万円	補 科学研究費挑戦的萌芽研究 委
悪性脳腫瘍に対する放射線・ERストレス負荷免疫療法の研究	坪井康次	放射線腫瘍科診療グループ	130万円	補 科学研究費挑戦的萌芽研究 委
陽子線のDNA損傷メカニズムと腫瘍免疫賦活効果を応用した新たながん治療法の研究	坪井康次	放射線腫瘍科診療グループ	598万円	補 科学研究費基盤研究(B) 委
ミクロとマクロのシミュレーション線量評価を結合した究極の粒子線治療計画技術の研究	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	221万円	補 科学研究費挑戦的萌芽研究 委
ホウ素中性子捕捉療法によるがん治療機器の開発・実証計画	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	5,000万円	補 経産省国際的先端医療機器開発実証事業費補助金/福島県総合南東北病院からの再委託研究 委
あらゆる放射線治療に対応する汎用治療計画ネットワークシステムの研究	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	1,400万円	補 委 いばらき医工連携推進事業
BNCT治療時の血中ホウ素濃度の高速高精度計測技術の開発	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	1,400万円	補 委 いばらき医工連携推進事業
抗腫瘍免疫を増強する放射線治療法確立のための基礎的研究	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	273万円	補 科学研究費基盤研究(C) 委
骨格筋MRIによる運動効果の多角的評価法の確立	磯辺智範	放射線腫瘍科診療グループ	117万円	補 科学研究費挑戦的萌芽研究 委
イメージングプレートを用いた簡易型環境放射線測定デバイス	磯辺智範	放射線腫瘍科診療グループ	42万円	補 平成24年度一般社団法人日本医療機器学会 研究・開発助成 委
放射線治療場で発生する2次中性子の簡易的評価システムの構築	磯辺智範	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 平成24年度日本放射線技術学会学術調査研究助成金 委
IVRにおける患者水晶体被ばく低減のための完全無線化X線遮蔽装置の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	292.5万円	補 科学技術振興機構復興促進プログラム(A-STEP)探索タイプ 委
ガラス線量計を用いたIVR治療患者被ばくの測定・管理法の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	720万円	補 財団法人広沢技術振興財団試験研究助成 委
生体試料を用いた低線量放射線影響の基礎的研究	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	140万円	補 委 東北大学災害科学国際研究所特定プロジェクト研究
ガラス線量計を用いたIVR治療患者被ばくの測定・管理法の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	200万円	補 委 財団法人広沢技術振興財団試験研究助成

小計16件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元		
頭部IVR用患者両眼被曝低減コリメーターの開発と白内障防止効果の基礎的臨床的検討	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委	小計15件	
心臓IVR及び心臓CTにおける総合被曝線量管理法の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	15万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委		
患者放射線被曝情報の統合管理システムの研究開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委		
IVR治療患者の水晶体被ばくを低減するX線遮蔽装置の開発	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	100万円	補 財団法人テルモ科学 技術振興財団2011年度 一般研究助成 委		
頭部IVR診断参考レベル設定のための実測による皮膚及び水晶体の多施設線量評価	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	35万円	補 放射線影響協会研究 奨励助成金 委		
茨城の特徴を生かした放射線治療の基盤強化事業	照沼利之	放射線腫瘍科診療グループ	10,000万円	補 委 茨城県新たな地域医療再生計画事業		
安全な癌治療放射線治療実施のための放射線感応性色素素材の開発とその臨床応用	大城佳子	放射線腫瘍科診療グループ	242.9万円	補 科学研究費若手研究 (B) 委		
全ゲノムシーケンス時代に向けた統合失調症の病態の類型化と診断・治療戦略の確立	有波忠雄	遺伝診療グループ	650万円	補 日本学術振興会科学 研究費補助金基盤研究 (B) 委		
日本人統合失調症家系のゲノム解析に基づく疾患発症に関わるゲノム多様性と病態の解明	有波忠雄	遺伝診療グループ	650万円	補 文部科学省新学術 領域研究 委		
ゲノム解析による進化医学的証拠に基づく統合失調症の起源と病因に関する研究	有波忠雄	遺伝診療グループ	182万円	補 日本学術振興会科学 研究費補助金挑戦的 萌芽研究		
エクソーム解析による小児喘息発症の個別化医療と創薬のための分子標的遺伝子の探索	野口恵美子	遺伝診療グループ	962万円	補 日本学術振興会科学 研究費補助金基盤研究 (B) 委		
						小計9件

合計227件

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Circ J. 2012;76(7):1601-8. Epub 2012 Apr 3.	An increase in right atrial magnetic strength is a novel predictor of recurrence of atrial fibrillation after radiofrequency catheter ablation.	Sato Y	循環器(内)診療グループ
J Cardiovasc Electrophysiol. 2012 May;23(5):521-6.Epub 2011 Dec 2.	Electrocardiographic determinants of the polymorphic QRS morphology in idiopathic right ventricular outflow tract tachycardia.	Igarashi M	循環器(内)診療グループ
Am J Cardiol. 2012 May 1;109(9):1247-53. Epub 2012 Feb 9.	Comparison of arterial remodeling and changes in plaque composition between patients with progression versus regression of coronary atherosclerosis during statin therapy (from the TRUTH study).	Nozue T	循環器(内)診療グループ
Am Heart J. 2012 May;163(5):747-752.e1.	A novel algorithm for individualized cardiac resynchronization therapy: rationale and design of the adaptive cardiac	Krum H	循環器(内)診療グループ
Am Heart J. 2012 May;163(5):747-752.e1.	Impact of coronary plaque composition on cardiac troponin elevation after percutaneous coronary intervention in stable angina pectoris: a computed tomography analysis.	Watabe H	循環器(内)診療グループ
Circ Arrhythm Electrophysiol. 2012 Jun 1;5(3):506-13. Epub 2012 Apr 24.	Early repolarization is an independent predictor of occurrences of ventricular fibrillation in the very early phase of acute myocardial infarction.	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Circulation. 2012 Jun 5;125(22):e979-82.	Isolated cardiac involvement of B-cell acute lymphoblastic leukemia mimicking acute myocardial infarction with persistent broad ST-segment elevation.	Kakefuda Y	循環器(内)診療グループ
Circulation. 2012 Jun 19;125(24):e1021-4	Anomalous origin of the right coronary artery from the left sinus of valsalva in an elderly man: life-threatening worsening of angina after left lung lobectomy.	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
J Card Fail. 2012 Jun;18(6):480-6.Epub 2012 Mar 28.	Prognostic value of serum tenascin-C levels on long-term outcome after acute myocardial infarction.	Sato A	循環器(内)診療グループ
J Am Soc Echocardiogr. 2012 Jun;25(6):620-8. Epub 2012 Mar 21.	Transmural compensation of myocardial deformation to preserve left ventricular ejection performance in chronic aortic regurgitation.	Iida N	循環器(内)診療グループ
Coron Artery Dis. 2012 Jun;23(4):239-44.	Impacts of conventional coronary risk factors, diabetes and hypertension, on coronary atherosclerosis during statin therapy: subanalysis of the TRUTH study.	Nozue T	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2012;76(9):2188-96. Epub 2012 Jun 12.	Impact of diabetes mellitus on coronary atherosclerosis and plaque composition under statin therapy - subanalysis of the TRUTH study -.	Nozue T	循環器(内)診療グループ
J Am Coll Cardiol. 60(6)	Clinical Value of Myocardial Contrast Delayed Enhancement With Multidetector Computed Tomography. (Author Reply).	Sato A	循環器(内)診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int Heart J. 2012;53(4):238-43.	Effects of anemia correction by erythropoiesis-stimulating agents on cardiovascular function in non-dialysis patients with chronic kidney disease.	Suzuki M	循環器(内)診療グループ
J Immunol. 2012 Aug 15;189(4):2043-53. Epub 2012 Jul 13.	Suppressor of cytokine signaling 1 DNA administration inhibits inflammatory and pathogenic responses in autoimmune myocarditis.	Tajiri K	循環器(内)診療グループ
Aviat Space Environ Med. 2012 Aug;83(8):783-9.	An exercise protocol designed to control energy expenditure for long-term space missions.	Matsuo T	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2012;76(9):2096-103. Epub 2012 Jun 2.	Radiofrequency Catheter Ablation of Persistent Atrial Fibrillation Decreases a Sleep-Disordered Breathing During a Short Follow-up Period.	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Heart Vessels. 2012 Sep 20. [Epub ahead of print]	Dislodged and mechanically distorted stent stuck within a previously implanted drug-eluting stent.	Watabe H	循環器(内)診療グループ
J Am Coll Cardiol. 60(11):1030-1030, 2012 Sep	Multidetector Computed Tomography for Detecting Lesions That Are at High Risk for Myocardial Necrosis After Percutaneous Coronary Intervention. (Author Reply)	Watabe H	循環器(内)診療グループ
Pacing Clin Electrophysiol. 2012 Oct;35(10):e302-5. Epub 2012 Jun 5.	Tachycardia associated with twin atrioventricular nodes in an infant with heterotaxy and interruption of inferior vena cava.	Kato Y	循環器(内)診療グループ
Catheter Cardiovasc Interv. 2012 Oct 1;80(4):556-63. Epub 2012 Jan 10.	Effect of individual proton pump inhibitors on cardiovascular events in patients treated with clopidogrel following coronary stenting: results from the Ibaraki Cardiac Assessment Study Registry.	Aihara H	循環器(内)診療グループ
Life Sci. 2012 Oct 15;91(13-14):572-7. Epub 2012 Apr 30.	Endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy is partly regulated by transcription factor II-F interacting C-terminal domain phosphatase of RNA polymerase II.	Sakai S	循環器(内)診療グループ
J Cardiol. 2012 Oct;60(4):252-6. Epub 2012 Jul 25.	Acute hemodynamic effects of landiolol, an ultra-short-acting beta-blocker, in patients with acute coronary syndrome: preliminary study.	Hoshi T	循環器(内)診療グループ
Life Sci. 2012 Oct 15;91(13-14):729-32. Epub 2012 Aug 21.	Increased plasma levels of big-endothelin-2 and big-endothelin-3 in patients with end-stage renal disease.	Miyauchi Y	循環器(内)診療グループ
Eur J Heart Fail. 2012 Oct;14(10):1112-20. Epub 2012 Jun 26.	Prediction and mechanism of frequent ventricular premature contractions related to haemodynamic deterioration.	Kuroki K	循環器(内)診療グループ
Proceeding of 14th IEEE Healthcom (Beijing, China): 292-297, 2012 Oct10-13	Development of wearable heart disease monitoring and alerting system associated with smartphone	Watanabe H	循環器(内)診療グループ

小計13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Life Sci. 2012 Oct 15;91(13-14):490-500. Epub 2012 Mar 28.	Endothelin and endothelin receptors in the renal and cardiovascular systems.	Vignon-Zellweger N	循環器(内)診療グループ
Heart Vessels. 2012 Nov;27(6):643-7. Epub 2012 Feb 14.	Successful radiofrequency catheter ablation of common atrial flutter at the bottom of a coronary sinus diverticulum.	Igarashi M	循環器(内)診療グループ
Heart Rhythm. 2012 Nov;9(11):1807-14. Epub 2012 Jul 14.	Investigation of a novel algorithm for synchronized left-ventricular pacing and ambulatory optimization of cardiac resynchronization therapy: results of the adaptive CRT trial.	Martin DO	循環器(内)診療グループ
Heart Rhythm. 2012 Nov;9(11):1769-78. Epub 2012 Jun 19.	Electrogram organization predicts left atrial reverse remodeling after the restoration of sinus rhythm by catheter ablation in patients with persistent atrial fibrillation.	Yoshida K	循環器(内)診療グループ
Pharmacogenet Genomics. 2012 Nov;22(11):777-83.	CYP2D6 genotype affects age-related decline in flecainide clearance: a population pharmacokinetic analysis.	Doki K	循環器(内)診療グループ
BMC Res Notes. 2012 Nov 21;5:646.	Cardiorespiratory fitness level correlates inversely with excess post-exercise oxygen consumption after aerobic-type interval training.	Matsuo T	循環器(内)診療グループ
Circ Arrhythm Electrophysiol ; 5: e115, 2012 Dec 5	Response to letter regarding article, "early repolarization is an independent predictor of occurrences of ventricular fibrillation in the very early phase of acute myocardial infarctions".	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Int Heart J. 2012;53(2):102-7.	Prognostic value of cardiopulmonary exercise testing in cardiac patients with atrial fibrillation.	Tsuneoka H	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2012;76(3):689-97. Epub 2012 Jan 13.	Tissue Doppler imaging dyssynchrony parameter derived from the myocardial active wall motion improves prediction of responders for cardiac resynchronization therapy.	Sakamaki F	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2012;76(7):1601-8. Epub 2012 Apr 3.	An increase in right atrial magnetic strength is a novel predictor of recurrence of atrial fibrillation after radiofrequency catheter ablation.	Sato Y	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2012;76(11):2546-51. Epub 2012 Jul 18.	Prevalence and influence of hyperthyroidism on the long-term outcome of catheter ablation for drug-refractory atrial fibrillation.	Machino T	循環器(内)診療グループ
Journal of Echocardiography 10(4): 141-142, 2012	Three-dimensional echocardiography in the diagnosis of pacemaker lead perforation.	Sugano A	循環器(内)診療グループ
Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2013 Mar;14(3):253-60. Epub 2012 Jul 20.	Abnormal early diastolic intraventricular flow 'kinetic energy index' assessed by vector flow mapping in patients with elevated filling pressure.	Nogami Y	循環器(内)診療グループ
Catheter Cardiovasc Interv. 2013 Feb;81(3):E151-4. Epub 2012 Aug 2.	Multimodality intracoronary imaging in spontaneous coronary artery dissection: impacts of intravascular ultrasound, optical coherence tomography, and coronary angiography.	Hoshi T	循環器(内)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Circ J. 2012;76(9):2096-103. Epub 2012 Jun 2.	Radiofrequency Catheter Ablation of Persistent Atrial Fibrillation Decreases a Sleep-Disordered Breathing Parameter During a Short Follow-up Period	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2013 Mar 26. [Epub ahead of print]	Significant Improvement of Left Atrial and Left Atrial Appendage Function After Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation.	Machino-Ohtsuka T	循環器(内)診療グループ
Circ J. 2013 Feb 25;77(3):661-6. Epub 2012 Dec 8.	Relation between oscillatory breathing and cardiopulmonary function during exercise in cardiac patients.	Kato J	循環器(内)診療グループ
Heart Rhythm. 2013 Mar;10(3):331-7. Epub 2012 Nov 23.	Concomitant obstructive sleep apnea increases the recurrence of atrial fibrillation following radiofrequency catheter ablation of atrial fibrillation: clinical impact of continuous positive airway pressure therapy	Naruse Y	循環器(内)診療グループ
Heart Rhythm. 2013 Mar;10(3):459-60. Epub 2011 Nov 3.	Three-dimensional visualization of the entire reentrant circuit of bundle branch reentrant tachycardia.	Machino T	循環器(内)診療グループ
臨床心臓電気生理(0285-1652)35巻 Page231-240(2012.05)	心室細動のトリガーとなる心室性期外収縮に対するカテーテル焼灼術が著効したカテコラミン誘発性多形性心室頻拍の1症例.	金城 貴士	循環器(内)診療グループ
Therapeutic Research(0289-8020)34巻1号 Page85-87(2013.01)	心室3点ペーシングの有効性が確認された拡張型心筋症による重症左心不全の1例	安達亨	循環器(内)診療グループ
日本臨牀 月刊誌(2013年)心房細動—診断・治療の最新動向—(71巻1号):60-6.	General therapeutic strategy for atrial fibrillation	金城 貴士	循環器(内)診療グループ
心臓(0586-4488)44巻Suppl.3 Page190-196(2012.12)	術式不詳の開心術後の心房粗動に対して詳細なマッピングにより回路を同定し得た1例	安達亨	循環器(内)診療グループ
心臓(0586-4488)44巻6号 Page707-714(2012.06)	新型インフルエンザ心筋炎に多発筋炎を併発した1例	山本 昌良	循環器(内)診療グループ
J Artif Organs.15(1):94-8, 2012	Surgical removal of infected pacemaker leads without cardiopulmonary bypass after failed extraction using the Excimer Laser sheath extraction system	徳永千穂	循環器(外)診療グループ
Surg Today. 42(2):191-4, 2012	Surgical repair for rupture of chronic traumatic thoracic aneurysm 14 years after injury.	佐藤藤夫	循環器(外)診療グループ
脈管学 52: 295-301, 2012, 8月	心臓交感神経指標を用いた寒冷負荷による糖尿病心筋虚血リスクの評価.	佐藤藤夫	循環器(外)診療グループ
J Vasc Surg. 55(3):679-87, 2012, 3月	Prospective intraindividual comparison of unenhanced magnetic resonance imaging vs contrast-enhanced computed tomography for the planning of endovascular abdominal aortic aneurysm repair.	佐藤藤夫	循環器(外)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
体外循環技術. 39(1): 65-69, 2012	人工肺流入部圧力上昇のため人工心肺運転中に全回路交換を余儀なくされた3症例の検討	古垣達也	循環器(外)診療グループ
J Artif Organs. 2012 15(1):94-8.	Surgical removal of infected pacemaker leads without cardiopulmonary bypass after failed extraction using the Excimer Laser Sheath Extraction System	徳永千穂	循環器(外)診療グループ
Ann Thorac Surg. 2013 Mar 15. E-pub	Effects of Landiolol hydrochloride on intractable tachyarrhythmia after pediatric cardiac surgery.	徳永千穂	循環器(外)診療グループ
J Gastroenterol	Gastric acid induces mitochondrial superoxide production and lipid peroxidation in gastric epithelial cells.	Matsui H	消化器(内)診療グループ
Cancer Sci.	Genotype-directed, dose-finding study of irinotecan in cancer patients with UGT1A1*28 and/or UGT1A1*6 polymorphisms.	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
Int J Cancer	EpCAM- and EGFR-targeted selective gene therapy for biliary cancers using Z33-fiber-modified adenovirus in gastrointestinal epithelial cells.	Abei M	消化器(内)診療グループ
Cancer Gene Ther	Enhanced specificity of HPV16 E6E7 siRNA by RNA-DNA chimera modification.	Endo S, Hyodo I	消化器(内)診療グループ
Gastric Cancer.	A phase II study of biweekly mitomycin C and irinotecan combination therapy in patients with fluoropyrimidine-resistant advanced gastric cancer: a report from the Gastrointestinal Oncology Group of the Japan Clinical Oncology Group (JCOG0109-DI Trial).	Hyodo I	消化器(内)診療グループ
J Gastroenterol	Potent in vitro and in vivo antitumor activity of sorafenib against human intrahepatic cholangiocarcinoma cells, plus oxaliplatin-based therapy: a randomized phase III study (EAGLE Study).	Shoda J	消化器(内)診療グループ
Seikagaku	Platelets and liver regeneration	Maruyama T	消化器(外)診療グループ
International Surgery	Well-differentiated endocrine carcinoma originating from the bile duct in association with a congenital choledochal cyst.	Takahashi K	消化器(外)診療グループ
Journal of Gastroenterology and Hepatology	Evaluation of serum high-density lipoprotein cholesterol levels as a prognostic factor in gastric cancer patients.	Tamura T	消化器(外)診療グループ
Journal of Surgical Research	Interaction between Kupffer cells and platelets in the early period of hepatic ischemia-reperfusion injury-An in vivo study.	Tamura T	消化器(外)診療グループ
International Journal of oncology.	Differential expression profiles of sense and antisense transcripts between HCV-associated hepatocellular carcinoma and corresponding non-cancerous liver tissue.	Nagai K	消化器(外)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
International Journal of Cancer.	Effective Delivery of Chemotherapeutic Nanoparticles by Depleting Host Kupffer Cells.	Ohara Y	消化器(外)診療グループ
Hepatology Research	Platelet-derived adenosine 5'-triphosphate suppresses activation of human hepatic stellate cell - in vitro study -	Ikeda N	消化器(外)診療グループ
Journal of Surgical Research	Effects of Platelet-Rich Plasma on Intestinal Anastomotic Healing in Rats: PRP Concentration is a Key Factor.	Yamaguchi R	消化器(外)診療グループ
World Journal of Surgery	Invasion of the hepatic artery is a crucial predictor of poor outcomes in gallbladder carcinoma.	Kobayashi A,	消化器(外)診療グループ
International Journal of Hepatology	Regulation of signal transduction and role of platelets in liver regeneration.	Nowatari T	消化器(外)診療グループ
Acad Radiol	Screen-detected lung cancer.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Allergol Int.	The opposite effect of the CCL5 gene on asthma and baseline FEV(1) in nonasthmatic healthy adults.	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
Allergol Int.	A Distinct Sensitization Pattern Associated with Asthma and the Thymic Stromal Lymphopoietin (TSLP) Genotype.	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
Allergol Int.	Asthma Phenotypes in Japanese Adults - Their Associations with the CCL5 and ADRB2 Genotypes	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
Allergy Asthma Proc.	Total serum IgE levels and atopic status in patients with sarcoidosis.	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
Allergy	The prevalence of rhinitis and its association with smoking and obesity in a nationwide survey of Japanese adults.	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
Allergy	Interleukin-33 induces interleukin-17F in bronchial epithelial cells	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ
Allergy.	Variants in the 17q21 asthma susceptibility locus are associated with allergic rhinitis in the Japanese population.	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
Am J Physiol Renal Physiol	IL-17A stimulates granulocyte colony-stimulating factor production via ERK1/2 but not p38 or JNK in human renal proximal tubular epithelial cells.	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Crit Care Med.	Associating serum biomarkers with genetic susceptibility to chronic obstructive pulmonary disease: a step towards improved diagnosis and therapy?	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Cent Eur J Med	Tracheobronchial mucoic pseudotumor.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
Cent Eur J Med	Spontaneous contralateral pneumothorax in a patient with low body mass index.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
Clin Exp Allergy	The search for genetic links in NSAID-induced acute urticaria and the arachidonic acid pathway.	樽澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
Clin Lung Cancer	Docetaxel vs. vinorelbine in elderly patients with advanced NSCLC	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
European Journal of Immunology	Overexpression of ROR γ t under control of the CD2 promoter induces polyclonal plasmacytosis and autoantibody production in transgenic mice	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ
Exp Ther Med	A population-based study of gefitinib in patients with postoperative recurrent non-small cell lung cancer.	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Int J Biochem Cell Biol.	Notch signaling mediates TGF- β 1-induced epithelial-mesenchymal transition through the induction of Snail	松野 洋輔	呼吸器(内)診療グループ
International Cancer Conference Journal	Resistance to chemotherapy in non-small cell lung cancer with Keap1 gene mutation.	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med	Pulmonary arteriovenous communications in an elderly patient.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med	Ortner's syndrome in a patient with COPD	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med	Pneumomediastinum in a patient with pneumocystis jirovecii pneumonia.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
J Gastrointest Cancer	Obstructive jaundice as recurrence of lung adenocarcinoma.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
Journal of Gastrointestinal Cancer	Cavitary Pulmonary Metastases of Pancreas Cancer.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
J Thorac Oncol	Prolonged survival in lung cancer patients with diabetes mellitus.	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
J Crit Care	Plasma C-reactive protein levels are associated with mortality in elderly with acute lung injury.	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Palliat Med	Medical professionals' attitudes toward tube feeding for themselves or their families: a multicenter survey in Japan	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ
J Emerg Med	Hoarseness due to subcutaneous emphysema and pneumomediastinum.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
Lung Cancer	Metastatic brain tumors from non-small cell lung cancer with EGFR mutations: distinguishing influence of Exon 19 deletion on radiographic features	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Nat Genet.	Genome-wide association study identifies eight new susceptibility loci for atopic dermatitis in the Japanese population	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ
Oncol Lett.	Serum levels of cystatin C in elderly lung cancer patients.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Oncol Lett	Safety creatinine clearance level for platinum chemotherapy in lung cancer patients.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Oncol Lett	Age-dependent decline in renal function in patients with lung cancer.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Oncol Lett	Volume doubling time of lung cancers detected in a chest radiograph mass screening program: Comparison with CT screening	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Oncol Lett.	Specific organ metastases and survival in small cell lung cancer.	栗島 浩一	呼吸器(内)診療グループ
Oncology Letters	Application of conditional probability analysis to distant metastases from lung cancer.	籠橋 克紀	呼吸器(内)診療グループ
Oncology Letters	Cisplatin for Small Cell Lung Cancer Related Publications in Science Citation Index Expanded.	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
Oncogene	Molecular mechanisms for the regulation of Nrf2-mediated cell proliferation in non-small-cell lung cancers.	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ
Tuberculosis and Thorax	Successfully treated eosinophilic pneumonia in an octogenarian.	川口 未央	呼吸器(内)診療グループ
結核	非典型的画像所見にもかかわらず咯血を来した陳旧性肺結核の1例	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ
結核	胸腺腫全摘後に非結核性抗酸菌症を診断した1例	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
癌と化学療法	肺腺癌放射線化学療法中に急速に抗利尿ホルモン分泌異常症候群を来した1例	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ
気管支学	縦隔リンパ節腫脹から気管内浸潤と心嚢水貯留をきたした肺クリプトコッカス症の1例	小川 良子	呼吸器(内)診療グループ
気管支学	両側多発肺結節および気管支内腔に多発ポリープを呈したシェーグレン症候群合併悪性リンパ腫の1例	小川 良子	呼吸器(内)診療グループ
Lung Cancer. 75(2):223-7, 2012	Preoperative lymphocyte count is an independent prognostic factor in node-negative non-small cell lung cancer.	菊池慎二	呼吸器(外)診療グループ
Cancer Science. 103(6):1051-7, 2012	Expression of a splicing variant of the CADM1 specific to small cell lung cancer.	菊池慎二	呼吸器(外)診療グループ
Surg Today on line2012	Significant correlation between endothelial nitric oxide synthase (eNOS) expression and alveolar repair in elastase-induced rat pulmonary emphysema	後藤行延	呼吸器(外)診療グループ
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Ideal Timing and Predialysis Nephrology Care Duration for Dialysis Initiation: From Analysis of Japanese Dialysis Initiation Survey	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Ther Apher Dia.	Late Dialysis Start Did Not Affect Long-Term Outcome in Japanese Dialysis Patients: Long-Term Prognosis From Japanese Society of Dialysis Therapy Registry.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Diabetes Care.	Significance of urinary full-length and ectodomain forms of megalin in patients with type 2 diabetes.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol.	ANCA-associated systemic vasculitis in Japan: clinical features and prognostic changes.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
CEN Case Rep.	Interaction of miconazole oral gel with warfarin and cyclosporine in a patient with nephrotic syndrome.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Diabetologia	Urinary podocalyxin is an early marker for podocyte injury in patients with diabetes; establishment of a highly sensitive ELISA to detect urinary podocalyxin.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
NDT	Glycohemoglobin not as predictive as fasting glucose as a measure of prediabetes in predicting proteinuria.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol.	Annual incidence of persistent proteinuria in the general population from Ibaraki annual urinalysis study.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol.	Primary membranoproliferative glomerulonephritis on the decline: decreased rate from the 1970s to the 2000s in Japan.	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Survey of the Effects of a Column for Adsorption of $\beta 2$ -Microglobulin in Patients With Dialysis-Related Amyloidosis in Japan	K. Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ
European Journal of Immunology	Overexpression of ROR γt under control of the CD2 promoter induces polyclonal plasmacytosis and autoantibody production in transgenic mice.	K. Yoh	腎泌尿器(内)診療グループ
Experimental Animals	A novel diabetes mellitus mouse model, MAFK-deficient and beta cell-specific MAFK-overexpressing hybrid transgenic mice, developed severe diabetic nephropathy and improved with TCV-116 (candesartan cilexetil) treatment	K. Yoh	腎泌尿器(内)診療グループ
Clin Exp Nephrol	Combined administration of low-dose prednisolone and cyclosporine in idiopathic membranous nephropathy: Tsukuba's regimen for IMN.	J. Usui	腎泌尿器(内)診療グループ
Int J Clin Oncol	The effect of gemcitabine/paclitaxel chemotherapy on the survival of patients with metastatic urothelial cancers	Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Oncogene	Downregulation of Ral GTPase-activating-protein causes tumor invasion and metastasis of bladder cancer	Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Int Canc Conf J	A case report: Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma of the urinary bladder.	Matsuoka T, Yoshino T, Fukuhara Y, Miyanaga N, Oka K, Nagayama R, Sekido N, Maebayashi K	腎泌尿器(外)診療グループ
Support Care Cancer	The cost of antiemetic therapy for chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients receiving platinum-containing regimens in daily practice in Japan: a retrospective study.	Oikawa T	腎泌尿器(外)診療グループ
Oncogene	JunB promotes cell invasion and angiogenesis in VHL-defective renal cell carcinoma.	Kanno T, Kamba T, Yamasaki T, Shibasaki N, Saito R, Terada N, Toda Y, Mikami Y, Inoue T, Kanematsu A, Nishiyama H, Ogawa O, Nakamura E	腎泌尿器(外)診療グループ
Proc Natl Acad Sci USA	Cold-inducible RNA-binding protein (Cirp) interacts with Dyrk1b/Mirk and promotes proliferation of immature male germ cells in mice.	Masuda T, Itoh K, Higashitsuji H, Nakazawa N, Sakurai T, Liu Y, Tokuchi H, Fujita T, Zhao Y, Nishiyama H, Tanaka T, Fukumoto M, Ikawa M, Okabe M, Fujita J.	腎泌尿器(外)診療グループ
Jpn J Clin Oncol	Management of ureteral obstruction in advanced testicular tumor with lymph node metastasis.	Ikeda A, Kawai K, Ando S, Oikawa T, Inai H, Kimura T, Takaoka E, Yoshino T, Suetomi T, Kojima T, Miyazaki J, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Jpn J Clin Oncol	A case of acute adrenal insufficiency unmasked during sunitinib treatment for metastatic renal cell carcinoma	Yoshino T, Kawai K, Miyazaki J, Kimura T, Ikeda A, Takaoka E, Suetomi T, Oikawa T, Kojima T, Iwasaki H, Shimano H, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
NeuroUrol Urodyn (Neurourology and urodynamics)	A novel animal model of underactive bladder: Analysis of lower urinary tract function in a rat lumbar canal stenosis model	Sekido N, Jyoraku A, Okada H, Wakamatsu D, Matsuya H, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Jpn J Clin Oncol	Analysis of Intravesical Recurrence After Bladder-preserving Therapy for Muscle-invasive Bladder Cancer.	Onozawa M, Miyanaga N, Hinotsu S, Miyazaki J, Oikawa T, Kimura T, Takaoka E, Kawai K, Shimazui T, Sakurai H, Nishiyama H, Akaza H	腎泌尿器(外)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Jpn J Clin Oncol.	Intratubular trophoblasts in the contralateral testis caused elevation of serum human chorionic gonadotropin following complete remission of stage II testicular tumor: a case report.	Nitta S, Kawai K, Onozawa M, Ando S, Miyazaki J, Nagata C, Noguchi M, Yamasaki K, Uchida K, Iwamoto T, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Int J Urol.	Risk factors for chronic kidney disease after chemotherapy for testicular cancer.	Inai H, Kawai K, Ikeda A, Ando S, Kimura T, Oikawa T, Onozawa M, Miyazaki J, Uchida K, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
Cancer Sci.	Tumor microvasculature with endothelial fenestrations in VHL null clear cell renal cell carcinomas as a potent target of anti-angiogenic therapy.	Yamasaki T, Kamba T, Kanno T, Inoue T, Shibasaki N, Arakaki R, Yamada T, Kondo K, Kamoto T, Nishiyama H, Ogawa O, Nakamura E.	腎泌尿器(外)診療グループ
Asian J Androl	Overexpression of ETS-1 is associated with malignant biological features of prostate cancer.	Li B, Shimizu Y, Kobayashi T, Terada N, Yoshimura K, Kamba T, Mikami Y, Inoue T, Nishiyama H, Ogawa O.	腎泌尿器(外)診療グループ
Int J Oncol.	Systemic transduction of p16INK4A antitumor peptide inhibits the growth of MBT-2 mouse bladder tumor cell line grafts.	Shimazui T, Yoshikawa K, Miyazaki J, Kojima T, Inai H, Ando S, Uemura H, Uchida K, Nishiyama H	腎泌尿器(外)診療グループ
BJU Int.	Clinical utility of the prostate cancer gene 3 (PCA3) urine assay in Japanese men undergoing prostate biopsy.	Ochiai A, Okihara K, Kamoi K, Oikawa T, Shimazui T, Murayama S, Tomita K, Umekawa T, Uemura H, Miki T.	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿器科紀要	尿管壁全周性肥厚を呈した尿管悪性リンパ腫の1例	灰谷崇夫, 清水洋祐, 井上貴博, 大久保和俊, 渡部 淳, 神波大己, 吉村耕治, 兼松明宏, 西山博之, 小川 修, 住吉真治, 三上芳喜, 錦織桃子	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿器科紀要	陰莖原発紡錘形細胞肉腫の1例	木村友和, 及川剛宏, 池田篤史, 吉野喬之, 末富崇弘, 宮崎 淳, 島居 徹, 西山博之, 橋本孝之, 杉田真太郎, 野口雅之	腎泌尿器(外)診療グループ
精神医学	多彩な身体愁訴から心気症と診断されたLOH(late-onset hypogonadism)症候群の1例	佐藤晋爾, 末富崇弘, 西山博之, 新井哲明, 朝田 隆	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿器科紀要	混合性尿管子宮内膜症の1例と本邦文献例の検討	黒部匡広, 小島崇宏, 内田将央, 宮川友明, 堤 雅一, 杉田真太郎	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿器科紀要	転移性腎細胞癌に対するゾラフェニブ投与中に可逆性急性心不全と耐糖能異常をきたし急激な臨床経過で死亡した1例	木村友和, 末富崇弘, 宮川友明, 堤 雅一	腎泌尿器(外)診療グループ
泌尿器科紀要	内視鏡超音波ガイド下経胃的膀胱性嚢胞ドレナージにより治療した腎被膜下嚢胞の1例	木村博子, 神波大己, 熱田 雄, 牧野雄樹, 大饗政嗣, 松井喜之, 今村正明, 清水洋祐, 井上貴博, 大久保和俊, 吉村耕治, 兼松明弘, 西山博之, 小川 修	腎泌尿器(外)診療グループ
J Atheroscler Thromb	Carotid Artery Plaque and LDL-to-HDL Cholesterol Ratio Predict Atherosclerotic Status in Coronary Arteries in Asymptomatic Patients with Type 2 Diabetes Mellitus.	Hiroaki Suzuki, Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun	TFE3 inhibits myoblast differentiation in C2C12 cells via down-regulating gene expression of myogenin.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Hepatology	Elovl6 promotes nonalcoholic steatohepatitis.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Biochem Biophys Res Commun	Dicer has a crucial role in the early stage of adipocyte differentiation, but not in lipid synthesis, in 3T3-L1 cells.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Am J Physiol Endocrinol Metab	TFE3 regulates muscle metabolic gene expression, increases glycogen stores, and enhances insulin sensitivity in mice.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
J Clin Endocrinol Metab	Development of a Screening Score for Undiagnosed Diabetes and Its Application in Estimating Absolute Risk of Future Type 2 Diabetes in Japan: Toranomon Hospital Health Management Center Study 10 (TOPICS 10)	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Prostaglandins Leukot Essent Fatty Acids	Distinct regulation of plasma LDL cholesterol by eicosapentaenoic acid and docosahexaenoic acid in high fat diet-fed hamsters: Participation of cholesterol ester transfer protein and LDL receptor.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Diabetes Care	Association Between Physical Activity and Risk of All-Cause Mortality and Cardiovascular Disease in Patients With Diabetes: A meta-analysis.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Am J Clin Nutr	Role of alcohol drinking pattern in type 2 diabetes in Japanese men: the Toranomon Hospital Health Management Center Study 11 (TOPICS 11)	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Pharmacol Sci	Inhibition of Autophagy Enhances Sunitinib-Induced Cytotoxicity in Rat Pheochromocytoma PC12 cells	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
J Clin Endocrinol Metab	Diabetes and Risk of Hearing Impairment in Adults: A Meta-Analysis	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Am J Epidemiol	Comparisons of the Strength of Associations With Future Type 2 Diabetes Risk Among Anthropometric Obesity Indicators, Including Waist-to-Height Ratio: A Meta-Analysis.	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
Mayo Clin Proc	Low Lung Function and Risk of Type 2 Diabetes in Japanese Men: The Toranomon Hospital Health Management Center Study 9 (TOPICS 9)	Hitoshi Shimano	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ
PLoS One 7(12):e51215,2012	Activation of invariant NKT cells with glycolipid ligand α -galactosylceramide ameliorates glucose-6-phosphate isomerase peptide-induced arthritis.	Horikoshi M, Goto D, Seiji Segawa, Yohei Yoshiga, Keiichi Iwanami, Asuka Inoue, Yuki Tanaka, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Presse Med.41(9 Pt 2):e461-6,2012	Pathogenic role of anti-M3muscarinic acetylcholine receptor immune response in Sjogren's syndrome.	Sumida T, Iizuka M, Asashima H, Tsuboi H, Matsumoto I.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Rheum. 64(12):3877-85,2012	TIARP (TNFAIP9) deficiency leads to arthritis via IL-6 overproduction with enhanced NF- κ B, STAT3 signaling and dysregulated apoptosis of macrophages.	Inoue A, Matsumoto I, Tanaka Y, Umeda N, Tanaka Y, Mihara M, Takahashi S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Biology of the Cell 104(11):641-57,2012	The STEAP Protein Family: Versatile Oxidoreductases and Targets for Cancer Immunotherapy with Overlapping and Distinct Cellular Functions.	Thomas G, Grunewald P, Bach H, Cossarizza A, Matsumoto I.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Arthritis Res. Ther. 14(4):R171,2012	Analysis of IgG4 class switch-related molecules in IgG4-related disease.	Tsuboi H, Matsuo N, Iizuka M, Tsuzuki S, Kondo Y, Tanaka A, Moriyama M, Matsumoto I, Nakamura S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Intern. Med.51(15):2035-9,2012	A case of a disseminated sporotrichosis patient treated with prednisolone, immunosuppressants, and tocilizumab under the diagnosis of rheumatoid arthritis.	Yamaguchi T, Ito S, Takano Y, Umeda N, Goto M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Res. Ther. 14(2):R96,2012	Interleukine-6 regulates anti-arthritic effect of methotrexate via the reduction of SLC19A1 expression in mouse arthritis model.	Hashizume M, Yoshida H, Tanaka K, Suzuki M, Matsumoto I, Sumida T, Mihira M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Ann Rheum Dis. 71(11):1820-1826, 2012	Drug retention rates and relevant risk factors for drug discontinuation due to adverse events in rheumatoid arthritis patients receiving anti-cytokine therapy with different target molecules.	Sakai R, Tanaka M, Nanki T, Watanabe K, Yamazaki H, Koike R, Nagasawa H, Amano K, Saito K, Tanaka Y, Ito S, Sumida T, Ihata A, Ishigatsubo Y, Atsumi T, Koike T, Nakajima A, Tamura N, Fujii T, Dobashi H, Tohma S, Sugihara T, Ueki Y, Hashiramoto A, Kawakami A, Hagino N, Miyasaka N, Harigai M, for the REAL Study Group.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Arthritis Care & Research 64(8):1125-1134,2012	Time-dependent increased risk for serious infection from continuous use of TNF antagonists during three years in rheumatoid arthritis patients.	Sakai R, Komano Y, Tanaka M, Nanki T, Koike R, Nagasawa H, Amano K, Nakajima A, Atsumi T, Koike T, Ihata A, Ishigatsubo Y, Saito K, Tanaka Y, Ito S, Sumida T, Tohma S, Tamura N, Fujii T, Sugihara T, Kawakami A, Hagino N, Ueki Y, Hashiramoto A, Nagasaka K, Miyasaka N, Harigai M, for the REAL Study Group.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Lupus 21(8):890-5,2012	Association of PRRF1-IRF7 region polymorphism with clinical manifestations of systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	Kawasaki A, Furukawa H, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Kusaoi M, Matsumoto I, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Ann Rheum Dis.71(7):1259-60,2012	Association of UBE2L3 polymorphisms with diffuse cutaneous systemic sclerosis in a Japanese population.	Hasebe N, Kawasaki A, Ito I, Kawamoto M, Hasegawa M, Fujimoto M, Furukawa H, Tohma S, Sumida T, Takehara K, Sato S, Kawaguchi Y, Tsuchiya N.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22:21-30,2012	Comprehensive Diagnostic Criteria (CDC criteria) for IgG4-related disease (IgG4-RD),2011	Umehara H, Okazaki K, Masaki Y, Kawano M, Yamamoto M, Saeki T, Matsui S, Yoshino T, Nakamura S, Kawa S, Hamano H, Kamisawa T, Shimosegawa T, Shimatsu A, Nakamura S, Ito T, Notohara K, Sumida T, Tanaka Y, Mimori T, Chiba T, Mishima M, Hibi T, Tsubouchi H, Inui K, Ohara H.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Rheumatol. 30(1):99-102,2012	Six-transmembrane epithelial antigen of prostate4 (STEAP4) is expressed on monocytes/neutrophils, and is regulated by TNF antagonist in patients with rheumatoid arthritis.	Tanaka Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Umeda N, Tanaka Y, Sugihara M, Hayashi T, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22:1-14,2012	A novel clinical entity, IgG4-related disease (IgG4RD): general concept and details.	Umehara H, Okazaki K, Masaki Y, Kawano M, Yamamoto M, Saeki T, Matsui S, Sumida T, Mimori T, Taraka Y, Tsubota Y, Toshino T, Kawa S, Suzuki R, Takegami T, Tomosugi N, Kurose N, Ishigaki Y, Azumi A, Kojima M, Nakamura S, Inoue D.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22(2):264-271,2012	Generation and functional analysis of monoclonal antibodies against the second extracellular loop of human M3 muscarinic acetylcholine receptor.	Tsuboi H, Nakamura Y, Iizuka M, Matsuo N, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Arthritis Rheum. 64:162-172,2012	Overexpression of T-bet gene regulates murine autoimmune arthritis.	Kondo Y, Iizuka M, Wakamatsu E, Yao Z, Tahara M, Tsuboi H, Sugihara M, Hayashi T, Yoh K, Takahashi S, Matsumoto I, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol. 22:128-136,2012	Six-transmembrane epithelial antigen of prostate4(STEAP4) is TNF α -induced protein that regulates IL-6, IL-8, and cell proliferation in synovium from patients with rheumatoid arthritis.	Tanaka Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Minami R, Umeda N, Kanamori A, Ochiai N, Miyazawa K, Sugihara M, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
PLoS Genet. 8(1): e1002455,2012	A genome-wide association study identified AFF1 as a susceptibility locus for systemic lupus erythematosus in Japanese.	Okada Y, Shimane K, Kochi Y, Tahira T, Suzuki A, Higasa K, Takahashi A, Horita T, Atsumi T, Ishii T, Okamoto A, Fujio K, Hirakata M, Amano H, Kondo Y, Ito S, Takada K, Mimori A, Saito K, Kamachi M, Kawaguchi Y, Ikari K, Mohammed W O, Matsuda K, Terao C, Ohmura K, Myouzen K, Hosono N, Tsunoda T, Nishimoto N, Mimori T, Matsuda F, Tanaka Y, Sumida T, Yamanaka H, Takasaki Y, Koike T, Horiuchi T, Hayashi K, Kubo M, Kamatani N, Yamada R, Nakamura Y, Yamamoto K.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Bone Marrow Transpl 47(5):725-730, 2012	The effect of oral management on the severity of oral mucositis during hematopoietic SCT.	Yamagata K, Arai C, Sasaki H, Takeuchi Y, Onizawa K, Yanagawa T, Ishibashi N, Karube R, Shinozuka K, Hasegawa Y, Chiba S, Bukawa H.	血液診療グループ
J Thromb Haemost 10(5):799-806, 2012	A lower starting dose of eltrombopag is efficacious in Japanese patients with previously treated chronic immune thrombocytopenia.	Tomiyama Y, Miyakawa Y, Okamoto S, Katsutani S, Kimura A, Okoshi Y, Ninomiya H, Kosugi H, Nomura S, Ozaki K, Ikeda Y, Hattori T, Katsura K, Kanakura Y.	血液診療グループ
Circulation 125(22):e979-e982, 2012	Isolated cardiac involvement of B-cell acute lymphoblastic leukemia mimicking acute myocardial infarction with persistent broad ST-segment elevation.	Kakefuda Y, Sato A, Hoshi T, Ishizu T, Tada H, Satomi K, Morishita Y, Okoshi Y, Tokunaga C, Sakakibara Y, Aonuma K.	血液診療グループ
Immunol Invest 41(8):831-846, 2012	HLA-C Matching Status Does Not Affect Rituximab-Mediated Antibody-Dependent Cellular Cytotoxicity by Allogeneic Natural Killer Cells.	Machino T, Okoshi Y, Miyake Y, Akatsuka Y, Chiba S.	血液診療グループ
Curr Top Microbiol Immunol 360:151-161, 2012	Notch2 and Immune Function.	Sakata-Yanagimoto M, Chiba S.	血液診療グループ
J Exp Med 209(8):1493-1503, 2012	Apoptotic cells suppress mast cell inflammatory responses via the CD300a immunoreceptor.	Nakahashi-Oda C, Tahara-Hanaoka S, Shoji M, Okoshi Y, Nakano-Yokomizo T, Ohkohchi N, Yasui T, Kikutani H, Honda S, Shibuya K, Nagata S, Shibuya A.	血液診療グループ
J Oral Maxillofac Surg 70(8):1885-1890, 2012	Human Immunodeficiency Virus-Associated Burkitt's Lymphoma in Oral Cavity of Japanese Patient.	Goto M, Onizawa K, Yanagawa T, Yamagata K, Shinozuka K, Nishikii H, Koganemaru H, Chiba S, Bukawa H.	血液診療グループ
Eur J Immunol 42(8):1999-2009, 2012	Overexpression of ROR γ t under control of the CD2 promoter induces polyclonal plasmacytosis and autoantibody production in transgenic mice.	Yoh K, Morito N, Ojima M, Shibuya K, Yamashita Y, Morishima Y, Ishii Y, Kusakabe M, Nishikii H, Fujita A, Matsunaga E, Okamura M, Hamada M, Suto A, Nakajima H, Shibuya A, Yamagata K, Takahashi S.	血液診療グループ

小計11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Clin Cancer Res 18(15):4183-4190, 2012	Pretreatment EBV-DNA copy number is predictive of response and toxicities to SMILE chemotherapy for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	Ito Y, Kimura H, Maeda Y, Hashimoto C, Ishida F, Izutsu K, Fukushima N, Isobe Y, Takizawa J, Hasegawa Y, Kobayashi H, Okamura S, Kobayashi H, Yamaguchi M, Suzumiya J, Hyo R, Nakamura S, Kawa K, Oshimi K, Suzuki R.	血液診療グループ
Case Report Hematol 2012:957612, 2012 (doi:10.1155/2012/957612)	Early Pathologic Findings of Bronchiolitis Obliterans after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Proposal from a Case.	Nakamoto-Matsubara R, Nishikii H, Yamada K, Ito M, Hasegawa Y, Kurita N, Obara N, Okoshi Y, Suzukawa K, Yokoyama Y, Sakata-Yanagimoto M, Noguchi M, Chiba S.	血液診療グループ
Ann Hematol 91(9):1491-1493, 2012	Nine years interval between first and second bone marrow transplantations and subsequent long-term survival-a case of acute myeloid leukemia with MLL-AF6 fusion gene.	Yokoyama Y, Suzukawa K, Okoshi Y, Nanmoku T, Obara N, Enami T, Hasegawa Y, Chiba S.	血液診療グループ
J Clin Microbiol 50(9):3133-3135, 2012	Bloodstream infection due to Mycoplasma arginini in an immunocompromised patient.	Watanabe M, Hitomi S, Goto M, Hasegawa Y.	血液診療グループ
Bone Marrow Transplantation 47(9):1243-1245, 2012	Post-transplant endothelial disorder after hematopoietic SCT: a blinded autopsy study.	Goyama S, Takeuchi K, Kanda Y, Nannya Y, Chiba S, Fukayama M, Kurokawa M.	血液診療グループ
Int J Hematol 96(4):492-500, 2012	Identification of unbalanced genome copy number abnormalities in patients with multiple myeloma by single-nucleotide polymorphism genotyping microarray analysis.	Kamada Y, Sakata-Yanagimoto M, Sanada M, Sato-Otsubo A, Enami T, Suzukawa K, Kurita N, Nishikii H, Yokoyama Y, Okoshi Y, Hasegawa Y, Ogawa S, Chiba S.	血液診療グループ
Leuk Lymphoma Published online (doi:10.3109/10428194.2013.771398)	MYC rearrangements are useful for predicting outcomes following rituximab and chemotherapy: multi-center analysis of Japanese patients with diffuse large B-cell lymphoma.	Kojima M, Nishikii H, Takizawa J, Aoki S, Noguchi M, Chiba S, Ando K, Nakamura N.	血液診療グループ
Blood Coagulation & Fibrinolysis, in press	Perisurgical induction of eculizumab in a patient with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria: its inhibition of surgery-triggered hemolysis and the consequence of subsequent discontinuation.	Kurita N, Obara N, Fukuda K, Nishikii H, Sato S, Inagawa S, Kurokawa T, Owada Y, Ninomiya H, Chiba S.	血液診療グループ
内科 109(2):361-364, 2012	DICで発症し悪性リンパ腫との鑑別に苦慮した脾臓原発血管肉腫の1例	松原(中本)理恵, 錦井秀和, 大越 靖, 長谷川雄一, 千葉 滋.	血液診療グループ
臨床血液 53(8):734-739, 2012	骨髄異形成症候群(MDS)と慢性骨髄性白血病(CML)における白血病移行の分子機構	北村俊雄, 大河内直子, 井上大 地, 戸上勝仁, 内田智之, 鎌山 侑希, 川畑公人, 千葉 滋, 原田 結花, 原田浩徳, 北浦次郎, 中原史雄.	血液診療グループ
Neurobiol Aging	Effect of plasma lipids, hypertension and APOE genotype on cognitive decline.	Yasuno F, Tanimukai S, Sasaki M, Ikejima C, Yamashita F, Kodama C, Hidaka S, Mizukami K, Asada T.	精神神経診療グループ
Psychiatry Res	Increased binding of peripheral benzodiazepine receptor in mild cognitive impairment-dementia converters measured by positron emission tomography with [¹¹ C]DAA1106.	Yasuno F, Kosaka J, Ota M, Higuchi M, Ito H, Fujimura Y, Nozaki S, Takahashi S, Mizukami K, Asada T, Suhara T.	精神神経診療グループ

小計12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
AJNR Am J Neuroradiol	Automatic voxel-based morphometry of structural MRI by SPM8 plus diffeomorphic anatomic registration through exponentiated Lie algebra improves the diagnosis of probable Alzheimer Disease.	Matsuda H, Mizumura S, Nemoto K, Yamashita F, Imabayashi E, Sato N, Asada T.	精神神経診療グループ
Psychiatry Clin Neurosci	Discrimination of female schizophrenia patients from healthy women using multiple structural brain measures obtained with voxel-based morphometry.	Ota M, Sato N, Ishikawa M, Hori H, Sasayama D, Hattori K, Teraishi T, Obu S, Nakata Y, Nemoto K, Moriguchi Y, Hashimoto R, Kunugi H.	精神神経診療グループ
Acta Psychiatr Scand	Glutamatergic changes in the cerebral white matter associated with schizophrenic exacerbation.	Ota M, Ishikawa M, Sato N, Hori H, Sasayama D, Hattori K, Teraishi T, Nakata Y, Kunugi H.	精神神経診療グループ
Neurobiol Dis	Post-mortem cerebrospinal fluid α -synuclein levels are raised in multiple system atrophy and distinguish this from the other α -synucleinopathies, Parkinson's disease and Dementia with Lewy bodies.	Foulds PG, Yokota O, Thurston A, Davidson Y, Ahmed Z, Holton J, Thompson JC, Akiyama H, Arai T, Hasegawa M, Gerhard A, Allsop D, Mann DMA.	精神神経診療グループ
Brain	Molecular analysis and biochemical classification of TDP-43 proteinopathy.	Tsuji H, Arai T, Kametani F, Nonaka T, Yamashita M, Suzukake M, Hosokawa M, Yoshida M, Hatsuda H, Takao M, Saito Y, Murayama S, Akiyama H, Hasegawa M, Mann DMA, Tamaoka A.	精神神経診療グループ
Melanoma Res	The benefit of sentinel lymph node biopsy and adjuvant therapy in thick (>4 mm) melanoma: multi-center, retrospective study of 291 Japanese patients	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ
J Surg Oncol	Indocyanine green fluorescence-navigated sentinel node biopsy showed higher sensitivity than the radioisotope or blue dye method, which may help to reduce false-negative cases in skin cancer	Fujisawa Y et al	皮膚診療グループ
J Eur Acad Dermatol Venereol	Facial nerve morbidity following facial nerve preservation surgery for the treatment of skin cancer of the head and neck	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
J Invest Dermatol	Pituitary tumor-transforming gene 1 enhances proliferation and suppresses early differentiation of keratinocytes	Ishitsuka Y et al	皮膚診療グループ
Br J Dermatol	Usefulness of sentinel lymph node biopsy for extramammary Paget disease	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
Pediatr Dermatol	Indolent subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma in a 1-year-old child	Kawachi Y et al	皮膚診療グループ
Pediatr Dermatol	Malignant blue nevus arising in a giant congenital cellular blue nevus in an infant	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
Acta Derm Venereol	Splicing aberration in naevoid basal cell carcinoma syndrome	Ishitsuka Y et al	皮膚診療グループ
Acta Derm Venereol	Incidental Gastric Signet-ring Cell Carcinoma Metastasis to the Skin in Basal Cell Carcinoma	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Eur J Dermatol	Pruritic poikilodermatous eruption associated with dermatomyositis: successful treatment with dapsone	Kawachi Y et al	皮膚診療グループ
Lymphat Res Biol	Multiple inguinal and pelvic lymph node metastases of malignant melanoma of the heel identified by common iliac lymphadenopathy	Nakamura Y et al	皮膚診療グループ
Pacing Clin Electrophysiol 35(10): e302-5, 2012	Tachycardia associated with twin atrioventricular nodes in an infant with heterotaxy and interruption of inferior vena cava.	Kato Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, Sumitomo N, Aonuma K	小児(内)診療グループ, 循環器(内)診療グループ
J Electrocardiol. 45(6):770-773, 2012	Drug-induced QT-interval prolongation and recurrent torsade de pointes in a child with heterotaxy syndrome and KCNE1 D85N polymorphism	Lin L, Horigome H, Nishigami N, Ohno S, Horie M, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ
Fetal Diagn Ther. 32(1-2):109-115, 2012	Comparison of PR intervals determined by fetal magnetocardiography and pulsed Doppler echocardiography.	Kato Y, Takahashi-Igari M, Inaba T, Sumazaki R, Horigome H.	小児(内)診療グループ
Int J Hematol. 95(5):581-584, 2012	Central nervous system lesions due to juvenile myelomonocytic leukemia progressed in a boy undergoing first line chemotherapy.	Fukushima H, Fukushima T, Hiraki A, Suzuki R, Mahmoud SS, Yoshimi A, Nakao T, Kato K, Kobayashi C, Koike K, Fukasawa M, Morishita Y, Doisaki S, Muramatsu H, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ
J Hum Genet. 57(2):109-114, 2012	Association of adiponectin polymorphism with cord blood adiponectin concentrations and intrauterine growth.	Saito M, Kamoda T, Nishimura K, Miyazono Y, Kanai Y, Kato Y, Iwabuchi A, Fukushima H, Hamada H, Arinami T, Sumazaki R, Noguchi E.	小児(内)診療グループ, 婦人・周産期診療グループ, 遺伝診療グループ
Clin Appl Thromb Hemost. 18(2):189-194, 2012	Significant associations among hemostatic parameters, adipokines, and components of the metabolic syndrome in Japanese preschool children.	Horigome H, Katayama Y, Yoshinaga M, Kato Y, Takahashi H, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ
Brain Dev. 34(3):234-237, 2012	Abnormal brain MRI signal in 18q-syndrome not due to dysmyelination.	Tanaka R, Iwasaki N, Hayashi M, Nakayama J, Ohto T, Takahashi M, Numano T, Homma K, Hamano K, Sumazaki R.	小児(内)診療グループ
Pacing Clin Electrophysiol. 35(10):e302-305, 2012	Tachycardia associated with twin atrioventricular nodes in an infant with heterotaxy and interruption of inferior vena cava.	Kato Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, Sumitomo N, Aonuma K.	小児(内)診療グループ, 循環器(内)診療グループ
成長科学協会研究年報 35:117-123, 2012	SGA性低身長児におけるGH補充療法の思春期発来に及ぼす影響に関する研究.	鴨田知博, 岩淵敬, 篠原宏行, 野末裕紀.	小児(内)診療グループ
J Pediatr Hematol Oncol	Pleomorphic adenoma of the submandibular gland in children: a case report and a review of the Japanese literature	Masumoto K, Oka Y, Nakamura M, Ida M, Takano K, Yoshimitsu K, Hirose S, Sakata N, Iwasaki A	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	The utility of muscle sparing axillar skin crease incision for pediatric thoracic surgery	Taguchi T, Nagata K, Kinoshita Y, Ieiri S, Tajiri T, Teshiba R, Esumi G, Karashima Y, Hoka S, Masumoto K:	小児(外)診療グループ
J Pediatr Gastroenterol Nutr	Significance of abnormalities in systems proximal and distal to the obstructed site of duodenal atresia	Alatas FS, Masumoto K, Esumi G, Nagata K, Taguchi T	小児(外)診療グループ
Asian J Surg	Colonic volvulus detected by CT scan in a case with mental retardation and prune belly syndrome	Oka Y, Masumoto K, Nakamura M, Iwasaki A	小児(外)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Pediatr Surg Int	Long-term survival with cloacal dysgenesis sequence.	Yanai T, Urita Y, Amagai T, Kawakami H, Watayo H, Masuko T, Matsuda S, Hirai M, Muraji T, Hamada H	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	A pediatric case of an unusual type of annular pancreas presenting with duodenopancreatic reflux	Komuro H, Gotoh C, Urita Y, Fujishiro J, Shinkai T	小児(外)診療グループ
J Pediatr Surg	Massive pneumatic expansion of lymphatic vessel resulting in cystic lesions in the pulmonary parenchyma: A rare case of persistent interstitial pulmonary emphysema in a non-ventilated infant	Fujishiro J, Komuro H, Ono K, Urita Y, Shinkai T, Minami Y, Kawabata Y, Kishimoto H, Masumoto K	小児(外)診療グループ
Transplantation	Liver Transplantation From a Donor With Asymptomatic Type IV-A Choledochal Cyst: The Long-Term Postoperative Course	Fujishiro J, Hori T, Kaneko M, Fukunaga K, Ohkouchi N, Takada Y, Masumoto K	小児(外)診療グループ
Transplantation	Combination therapy of tacrolimus and infliximab reduces inflammatory response and dysmotility in experimental small bowel transplantation in rats	Pech T, Fujishiro J, Finger T, Ohsawa I, Praktiknjo M, Abu-Elmagd K, von Websky M, Overhaus M, Kalff JC, Schaefer N	小児(外)診療グループ
Pediatr Radiol	A case of intrauterine gastric perforation in congenital diaphragmatic hernia.	Komuro H, Gotoh C	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	Stapled intestinal anastomosis is a simple and reliable method for management of intestinal caliber discrepancy in children	Sato K, Uchida H, Tanaka Y, Takazawa S, Jimbo T, Deie K	小児(外)診療グループ
Pediatr Surg Int	Differences in the characteristics and management of pyriform sinus fistula between neonates and young children	Amano H, Uchida H, Sato K, Kawashima H, Tanaka Y, Takazawa S, Jimbo T	小児(外)診療グループ
形成外科	舌亜全摘以上の欠損に対する機能的再建法	関堂亮	形成診療グループ
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery	Transverse fascial suspension with muscle bow traction: Advantages for full-thickness lip reconstruction involving the oral commissure using free flap	Kaoru Sasaki	形成診療グループ
Plastic and Reconstructive Surgery	A Technique to Improve the Geometric and Unnatural Appearance of the Inferior Triangular Flap in Primary Unilateral Cleft Lip Repair	Shinji Togashi	形成診療グループ
日形会誌	われわれが経験した合趾症手術例の検討	曾沢哲士	形成診療グループ
日形会誌	保存的治療で軽快した Vibrio vulnificus 感染の1例	小林友成	形成診療グループ
日形会誌	手術点数から算定したチームサージャリーにおける形成外科の貢献-2010年度保険診療点数改正の影響-	佐々木薫	形成診療グループ
日形会誌	小耳症助軟骨移植後の軟骨露出に対する陰圧閉鎖療法の有用性	江藤綾乃	形成診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
形成外科	死腔、血腫の防止1)ドレーンの目的と選択、2)陰圧吸引ドレーンの適応と抜去時期	関堂 充	形成診療グループ
Journal of Electron Microscopy	The role of collagen arrangement change during tendon healing demonstrated by scanning electron microscopy	Kaoru Sasaki	形成診療グループ
日形会誌	血管吻合が有効であった手拳テグローピング損傷の1例	佐々木 薫	形成診療グループ
ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY	A novel method for evaluating postsurgical results of unilateral cleft lip and palate with the use of Hausdorff Distance: presurgical orthopedic treatment improves nasal symmetry after primary cheiloplasty	Rei Karube	形成診療グループ
The journal of Craniofacial Surgery	Presurgical Nasoalveolar Molding Orthopedic Treatment Improves the Outcome of Primary Cheiloplasty of Unilateral Complete Cleft Lip and Palate, as Assessed by Naris Morphology and Cleft Gap	Hiroyoshi Sasaki	形成診療グループ
日形会誌	筑波大学における乳房再建外来新設の効果	赤澤 俊文	形成診療グループ
日本マイクロサージャリー学会会誌	乳房再建における移植床血管としての胸背動静脈前鋸筋枝の有用性	川井 啓太	形成診療グループ
Annals of Plastic Surgery	Presurgical Orthopedic Treatment Ameliorates Postoperative Nasal Deformity after Cheiloplasty	Koji Adachi	形成診療グループ
Neuromuscular Disorders 22: 905-906, 2012	The effect of water-soluble fullerene in muscle regeneration process of experimental murine skeletal muscle	Ishii A, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Molecular Therapy 20 : S203-204,2012	rAAV8/9-mediated muscle transduction with tacrolimus in non-human primate	Ishii A.	脳神経(内)診療グループ
Journal of Hypertension-Open Access SCIENTIFIC REPORTS 1:529	Cilnidipine Lowers Plasma Leptin of Patients with Obese Hypertension Associated with Cerebrovascular Disorder.	Watanabe M, Tamaoka A, Morishita Y, Noguchi M.	脳神経(内)診療グループ
Intern Med. 2012;51(16):2213-6	Recurrent isolated abducens nerve paresis associated with persistent trigeminal artery variant.	Nakamagoe K, Mamada N, Shiigai M, Shimizu K, Koganezawa T, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
J Clin Neurosci. 2012 ;19(11):1597-9.	Downbeat nystagmus due to a paramedian medullary lesion.	Nakamagoe K, Shimizu K, Koganezawa T, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Neurochem Res, 38: 589-600, 2013. Doi: 10.1007/s11064-012-0956-1.	Statins reduce amyloid β -peptide production by modulating amyloid precursor protein maturation and phosphorylation through a cholesterol-independent mechanism in cultured neurons.	Hosaka A, Araki W, Oda A, Tomidokoro Y, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Intern Med. 2012;51(21):3077-9. Epub 2012 Nov 1.	An Ocular Form of Myasthenia Gravis with a High Titer of Anti-MuSK Antibodies during a Long-term Follow-up.	Hosaka A, Takuma H, Ohta K, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Brain. 2012 Nov;135(Pt 11):3380-91. doi: 10.1093/brain/aws230. Epub 2012 Oct 3	Molecular analysis and biochemical classification of TDP-43 proteinopathy.	Tsuji H, Arai T, Kametani F, Nonaka T, Yamashita M, Suzukake M, Hosokawa M, Yoshida M, Hatsuta H, Takao M, Saito Y, Murayama S, Akiyama H, Hasegawa M, Mann DM, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Sci Transl Med. 2012 Aug 1;4(145):145ra104.	Drug Screening for ALS Using Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells.	Egawa N, Kitaoka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H.	脳神経(内)診療グループ
Curr Alzheimer Res. 2013 Feb;10(2):135-42.	Reduction of β -amyloid accumulation by reticulon 3 in transgenic mice.	Araki W, Oda A, Motoki K, Hattori K, Itoh M, Yuasa S, Konishi Y, Shin RW, Tamaoka A, Ogino K.	脳神経(内)診療グループ
Clin Neurol Neurosurg. 2012 Apr 30. [Epub ahead of print]	Acquired hepatocerebral degeneration with middle cerebellar peduncles lesions: Case report and review of the literature.	Ishii K, Shioya A, Fukuda K, Mori K, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Neurotoxicol Teratol. 2013 May-Jun;37:33-8. doi: 10.1016/j.ntt.2013.02.007. Epub 2013 Feb 21.	Residual central nervous system damage due to organoarsenic poisoning.	Nakamagoe K, Fujizuka N, Koganezawa T, Shimizu K, Takiguchi S, Horaguchi T, Ishii K, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
J Neurol Sci. 2013 May 15;328(1-2):98-101. doi: 10.1016/j.jns.2013.02.017. Epub 2013 Mar 16.	Downbeat nystagmus associated with damage to the medial longitudinal fasciculus of the pons: a vestibular balance control mechanism via the lower brainstem paramedian tract	Nakamagoe K, Fujizuka N, Koganezawa T, Yamaguchi T, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
Sci Transl Med. 2013 Jun 5;5(188):188r2. doi: 10.1126/scitranslmed.3005697	Response to Comment on "Drug Screening for ALS Using Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells".	Egawa N, Kitaoka S, Tsukita K, Naitoh M, Takahashi K, Yamamoto T, Adachi F, Kondo T, Okita K, Asaka I, Aoi T, Watanabe A, Yamada Y, Morizane A, Takahashi J, Ayaki T, Ito H, Yoshikawa K, Yamawaki S, Suzuki S, Watanabe D, Hioki H, Kaneko T, Makioka K, Okamoto K, Takuma H, Tamaoka A, Hasegawa K, Nonaka T, Hasegawa M, Kawata A, Yoshida M, Nakahata T, Takahashi R, Marchetto MC, Gage FH, Yamanaka S, Inoue H.	脳神経(内)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(4):238-42, 2012	Surgical technique for idiopathic spinal cord herniation: the Hammock method. Technical note.	Akutsu H, et al.	脳神経(外)診療グループ
No Shinkei Geka. 40(6):511-7, 2012	Laparoscopy-assisted ventriculoperitoneal and lumboperitoneal shunt surgery	Aoki T, et al.	脳神経(外)診療グループ
Acad Radiol 1-6 April 5 2012	Proton MR Spectroscopy of Central Neurocytoma Using Short and Long Echo Time.	Matsumura A, et al.	脳神経(外)診療グループ
Surg Neurol Int. 3:87, 2012	Histologically proven venous congestive myelopathy without concurrent vascular malformation: Case reports and review of the literature.	Matsubara T, et al.	脳神経(外)診療グループ

小計12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Surg Neurol Int. 3:35, 2012	Dual-port technique in navigation-guided endoscopic resection for intraparenchymal brain tumor.	Masuda Y, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(1):826-8, 2012	Encapsulated acute subdural hematoma mimicking acute epidural hematoma on computed tomography.	Miki S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo).52(10):754-6, 2012	Intracranial germinoma manifesting as cavernous sinus syndrome--case report.	Muroi A, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(12):859-64., 2012	Multimodality treatment for cerebral arteriovenous malformations.	Nakai Y, et al.	脳神経(外)診療グループ
Jpn J Clin Oncol. 42(10): 887-95, 2012	Phase II study of single-agent bevacizumab in Japanese patients with recurrent malignant glioma.	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Stem Cells Dev. Dec 11, 2012. [Epub ahead of print]	Umbilical cord blood-derived mesenchymal stem cells inhibit, but adipose tissue-derived mesenchymal stem cells promote glioblastoma multiforme proliferation.	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Biochem Biophys Res Commun. 418(1):87-92, 2012.	A subpopulation of endothelial progenitor cells with low aldehyde dehydrogenase activity attenuates acute ischemic brain injury in rats.	Nakamura K, et al.	脳神経(外)診療グループ
Turk Neurosurgery accepted 2012	Reversible focal radiological changes due to non-convulsive status epilepticus of the right parietooccipital lobe. -Case report -	Nguyen THN, et al.	脳神経(外)診療グループ
Surg Neurol Int. 3:9, 2012	Navigation-guided endoscopic biopsy for pathological diagnosis for intraparenchymal pure germinoma near the ventricular trigone.	Onuma K, et al.	脳神経(外)診療グループ
J Neurosurg. 117(2):363-71, 2012	Elevated diffusion anisotropy in gray matter and the degree of brain compression.	Osuka S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(4):186-93, 2012	Valproic acid inhibits angiogenesis in vitro and glioma angiogenesis in vivo in the brain.	Osuka S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Acta Biomater 23 (4); 1011-1019, 2012	Calcium phosphate composite layers for surface-mediated gene transfer.	Tsurushima H, et al.	脳神経(外)診療グループ
J Mater Sci Mater Med 23(4): 1011-1019, 2012	Fabrication of a DNA-lipid-apatite composite layer for efficient and area-specific gene transfer.	Tsurushima H, et al.	脳神経(外)診療グループ
J Comput Assist Tomogr. 36(1):143-9, 2012	Moyamoya disease: evaluation of postoperative revascularization using multiphase selective arterial spin labeling MRI.	Nakai Y, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(4):194-201, 2012	Glioma immunotherapy with combined autologous tumor cell and endothelial cell vaccine in vivo.	Sakamoto N, et al	脳神経(外)診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Neurol Med Chir (Tokyo) 52(12): 878-884, 2012.	Preoperative endovascular embolization for hemangioblastoma in the posterior fossa.	Sakamoto N, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(11):832-4., 2012	Endoscopic third ventriculostomy for obstructive hydrocephalus caused by a large upper basilar artery aneurysm after coil embolization.	Sato M, et al.	脳神経(外)診療グループ
Cancer Chemother Pharmacol. Dec 11, 2012. [Epub ahead of print]	Randomized trial of chemoradiotherapy and adjuvant chemotherapy with nimustine (ACNU) versus nimustine plus procarbazine for newly diagnosed anaplastic astrocytoma and glioblastoma (JCOG0305).	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
No Shinkei Geka. 40(8):723-8, 2012.	Granular cell tumor of the neurohypophysis observed with hypoglycemic attack	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo) 52(10):736-740, 2012	Combined transmastoid / middle fossa approach for intracranial extension of middle ear cholesteatoma.	Yamamoto T, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(6):430-4, 2012	Acute subdural hematoma without subarachnoid hemorrhage caused by ruptured A1-A2 junction aneurysm. Case report.	Takada T, et al.	脳神経(外)診療グループ
Case Rep Surg. 2012:473790, 2012	Mixed germ cell tumor with extensive yolk sac tumor elements in the frontal lobe of an adult.	Takahashi T, et al.	脳神経(外)診療グループ
Brain Tumor Pathol. 29(2):73-86, 2012	Glioblastoma angiogenesis: VEGF resistance solutions and new strategies based on molecular mechanisms of tumor vessel formation.	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
J Neurooncol.108(3):361-73, 2012	Immunohistochemical detection of IDH1 mutation, p53, and internexin as prognostic factors of glial tumors.	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
Blood. 26;120(4):914-23, 2012	Genome-wide identification of endothelial cell-enriched genes in the mouse embryo.	Takano S, et al.	脳神経(外)診療グループ
J Vasc Surg. 55(2):506-16, 2012	Cilostazol suppression of arterial intimal hyperplasia is associated with decreased expression of sialyl Lewis X homing receptors on mononuclear cells and E-selectin in endothelial cells.	Takigawa T, et al.	脳神経(外)診療グループ
小児の脳神経 37: 258-262, 2012	脊髄係留解除術が有効であった鎖肛合併正常脊髄円錐高位終糸脂肪腫の1例	井原 哲 ほか	脳神経(外)診療グループ
脳卒中の外科 149-153 2012.	当院で経験した中脳海綿状血管腫3例に対する治療方針の検討	津田恭治 ほか	脳神経(外)診療グループ
Brain Tumor Pathol. Aug 23, 2012. [Epub ahead of print]	Benign spinal meningioma without dural attachment presenting delayed CSF dissemination and malignant transformation.	Tsuda K, et al.	脳神経(外)診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
小児の脳神経 37: 232-236, 2012	非症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症に対する治療戦略.	井原 哲 ほか	脳神経(外)診療グループ
No Shinkei Geka. 40(11):1027-37, 2012	Perioperative management of endovascular surgery.	Tsuruta W, et al.	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo). 52(9):691-4, 2012	New instrument for creating bone graft cavities for anterior cervical decompression and fusion: the anterior fusion spiral fork.	Matsumura A, et al.	脳神経(外)診療グループ
Sci Technol Adv Mater 13: online published 064204(8pp), 2012	Fabrication of DNA-antibody-apatitic composite layers for cell-targeted gene transfer.	Tsurushima H, et al.	脳神経(外)診療グループ
British Journal of Ophthalmology	Co-localisation of advanced glycation end products and D-β-aspartic acid-containing proteins in gelatinous drop-like corneal dystrophy.	Kaji Y	眼診療グループ
Clinical and Experimental Ophthalmology	Elastic hysteresis in human eyes is age dependent value.	Ishii K	眼診療グループ
Eye	Time course of changes in ocular wavefront aberration after administration of eye ointment.	Hiraoka T	眼診療グループ
Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Visualization of irrigation fluid flow and calculation of its velocity distribution in the anterior chamber by particle image velocimetry.	Kaji Y	眼診療グループ
International Ophthalmology	An evaluation of the effects of eyeball structure on ocular pulse amplitude in healthy subjects.	Ishii K	眼診療グループ
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Long-term effect of overnight orthokeratology on axial length elongation in childhood myopia: a 5-year follow-up study.	Hiraoka T	眼診療グループ
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Associations between metamorphopsia and foveal microstructure in patients with epiretinal membrane.	Okamoto F	眼診療グループ
Japanese journal of Ophthalmology	Intraocular pressure elevation in the early postoperative period after vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment.	Hasegawa Y	眼診療グループ
Ophthalmology	Influences of Cycloplegia with Topical Atropine on Ocular Higher-Order Aberrations.	Hiraoka T	眼診療グループ
Retina	Truncated contact lenses for peripheral vitrectomy.	Okamoto F	眼診療グループ
Retina	Time course of changes in aqueous flare intensity after vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment.	Hoshi S	眼診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
眼科臨床紀要	Goldmann圧平眼圧計の数値解析.	伊藤 泰明	眼診療グループ
日食情報	2012年金環日食による眼障害の発生状況.	大鹿 哲郎	眼診療グループ
日本眼科学会雑誌	非接触型マイボグラフィを用いた放射線治療後のマイボーム腺の評価.	伊藤 泰明	眼診療グループ
臨床眼科	毛様体悪性黒色腫, 胃癌および食道癌の3重複癌の1例.	佐藤 りえ	眼診療グループ
J Med Virol	Do neutralizing antibody responses generated by human papillomavirus infections favor a better outcome of low-grade cervical lesions?	Ochi H, Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynaecol Res.	Guidelines for office gynecology in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists 2011 edition.	Matsumoto K, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
Pathol Int.	Increased expression of OC1A domain containing 2 during stepwise progression of ovarian mucinous tumor.	Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
Int J Clin Oncol	Subsequent risks for cervical precancer and cancer in women with low-grade squamous intraepithelial lesions unconfirmed by colposcopy-directed biopsy: results from a multicenter, prospective, cohort study.	Matsumoto K, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
Int J Clin Oncol,	Cigarette smoke stimulates VEGF-C expression in cervical intraepithelial neoplasia (CIN) 1 and 2 lesions.	Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynecol Res	Impaired glucose tolerance during pregnancy: Possible risk factor for vaginal/anorectal colonization by group B Streptococcus.	Obata-Yasuoka M, Hamada H, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Gynecol. Oncol	Clinicopathological prognostic factors and the role of cytoreduction in surgical stage IVb endometrial cancer: A retrospective multi-institutional analysis of 248 patients in Japan.	Eto T, Saito T, Kasamatsu T, Nakanishi T, Yokota H, Satoh T, Hiura M, Yoshikawa H, Kamura T, Konishi I.	婦人・周産期診療グループ
Virology	Monoclonal antibodies recognizing cross-neutralization epitopes in human papillomavirus 16 minor capsid protein L2.	Nakao S, Mori S, Kondo K, Matsumoto K, Yoshikawa H, Kanda T.	婦人・周産期診療グループ
J Virol Methods,	Rapid genotyping of carcinogenic human papillomavirus by loop-mediated isothermal amplification using a new automated DNA test (Clinichip HPV).	Satoh T, Matsumoto K, Oruki M, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynaecol Res	Human papillomavirus infection and risk for cervical cancer in Japan.	Matsumoto K, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Obstet Gynecol Res	Safety and efficacy of substituting nedaplatin after carboplatin hypersensitivity reactions in gynecologic malignancies.	Michikami H, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
J Obstet Gynaecol Res	Discordance in Pena-Shokeir phenotype/fetal akinesia deformation sequence in a monoamniotic twin.	Mayumi M, Obata-Yasuoka M, Ogura T, Hamada H, Miyazono Y, Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Human Pathology	PIK3CA overexpression is a possible prognostic factor for favorable survival in ovarian clear cell carcinoma.	Abe A, Minaguchi T, Ochi H, Onuki M, Matsumoto K, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H, et al.	婦人・周産期診療グループ
Audiology Japan	筑波大学における聴覚障害医学生への教育と情報保障	和田哲郎,他	耳鼻咽喉診療グループ
Neck Pain: Causes, Diagnosis and Management	Neck pain induced by deep infection	Masahiro Nakayama, et al	耳鼻咽喉診療グループ
Radiation Oncol Biol Phys	Outcom of T4 or Recurrent nasal cavity and paranasal sinus carcinoma treated with proton beam	Akira Hara, et al	耳鼻咽喉診療グループ
Acta Otolaryngol	Immunoelectron microscopic analysis of neurotoxic effect of glutamate in the vestibular endorgans during ischemia	Akira Hara, et al	耳鼻咽喉診療グループ
Neurol Med Chir(Tokyo)	Combined transmastoid/middle fossa approach for intracranial extension of middle ear cholesteatoma	Keiji Tabuch, et al	耳鼻咽喉診療グループ
耳鼻臨床	上顎原発歯原性幻影細胞癌症例	西村文吾,他	耳鼻咽喉診療グループ
Otology Japan	耳科基礎研究のトピックス	原 晃,他	耳鼻咽喉診療グループ
Resuscitation	Fluoxetine has neuroprotective effects after cardiac arrest	Taguchi N, Nakayama S, Tanaka M.	麻酔診療グループ
Neurosci Lett	TRPM2 channel activation following in vitro ischemia	Verma S, Quillinan N, Yang Y, Nakayama S, Cheng J, Kelley M, Herson	麻酔診療グループ
Ultrasound Med Biol	Real-time tissue elastography for the diagnosis of lymph node metastasis in oral squamous cell carcinoma.	Ishibashi N,	歯・口腔診療グループ
J Oral Maxillofac Surg	Human Immunodeficiency Virus-Associated Burkitt's Lymphoma in Oral Cavity of Japanese Patient.	Goto M,	歯・口腔診療グループ
Bone Marrow Transplant	The effect of oral management on the severity of oral mucositis during hematopoietic SCT.	Yamagata K,	歯・口腔診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Oral Maxillofac Surg	Basal cell adenoma arising in a minor salivary gland of the palate.	Ishibashi N,	歯・口腔診療グループ
J Craniofac Surg	Presurgical nasolabial molding orthopedic treatment improves the outcome of primary cheiloplasty of unilateral complete cleft lip and palate, as assessed by naris morphology and cleft gap.	Sasaki H,	歯・口腔診療グループ
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol	A novel method for evaluating postsurgical results of unilateral cleft lip and palate with the use of Hausdorff distance: presurgical orthopedic treatment improves nasal symmetry after primary cheiloplasty.	Karube R,	歯・口腔診療グループ
BMC Cancer	Overexpression of cell cycle regulator CDCA3 promotes oral cancer progression by enhancing cell proliferation with prevention of G1 phase arrest.	Uchida F,	歯・口腔診療グループ
Int J Oral Sci	Angiosarcoma of the scalp diagnosed by the presence of neck inflammation: a case report.	Karube R,	歯・口腔診療グループ
Oral Maxillofac Surg	Inflammatory pseudotumor: report of a case in the mandible.	Date A,	歯・口腔診療グループ
日本先進インプラント医療学会誌	抗血栓療法継続下にインプラント治療を行った5例の検討	武内 保敏,	歯・口腔診療グループ
Clinical Rehabilitation, 26/8, 686-695 2012	Effects of gait rehabilitation with a footpad-type locomotion interface inpatients with chronic poststroke hemiparesis: a pilot study.	Hisako Yanagi	保健衛生外来診療グループ
J Nov Physiother S1:002. doi:10.4172/2165-7025.S1-00	Improvements of muscle strength and gait ability among chronic post-stroke patients by gait training with a footpad-type locomotion interface.	Hisako Yanagi	保健衛生外来診療グループ
理学療法科学 27(6) 723-729, 2012	ロボットスーツHAL®(Hybrid Assistive Limb®)福祉用の臨床応用にむけた症例研究.	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
高齢者ケアリング学研究会誌 3/1, 16-28 2012	廃用症候群についての文献的考察 -包括的評価指標作成に向けて-	柳 久子	保健衛生外来診療グループ
アディクションと家族、第29巻、50-59、2013.	精神障害者を持つ親の精神的健康およびこれに関わる要因-精神障害者による親への虐待に注目して-	森田 展彰	保健衛生外来診療グループ
日本アルコール・薬物医学会雑誌 47(6): 317-330, 2012.	Benzodiazepines使用障害の臨床的特徴とその発症の契機となった精神科治療の特徴に関する研究.	森田 展彰	保健衛生外来診療グループ
Psychiatry and Clinical Neurosciences, 66(5):390-396, 2012.	Sex differences in risk factors for suicidality among Japanese substance use disorder patients: Association with age, types of abused substances, and depression	Nobuaki Morrita	保健衛生外来診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
World Academy of Science, Engineering and Technology, No.68, pp.103-107, 2012	Life experiences are important factors of making stronger SOC (Sense of Coherence) on the workers in Tsukuba Research Park City (TRPC)	Shinichiro Sasahara	保健衛生外来診療グループ
産業衛生学雑誌 Vol.54, No.6, pp.286-293, 2012	メンタルヘルズ不全に伴う病気休業と休復職に関する規則・制度との関連に関する研究	笹原 信一朗	保健衛生外来診療グループ
体力栄養免疫学雑誌 Vol.22, No.2, 74-81, 2012	うつ病の増加に伴う病気休暇ならびに病気休職期間と金銭補償期間との関連に関する予備的研究～労使双方により良い休職制度を目指して～	笹原 信一朗	保健衛生外来診療グループ
Diabetes Research and Clinical Practice	Prevalence of Metabolic Syndrome among Rural Bangladeshi Women.	Jesmin S, Mia MS, Islam AMS, Islam R, Sultana SN, Zaedi S, Yamaguchi N, Okazaki O, Moroi M, Kimura S, Hiroe M.	救急・集中治療診療グループ
BMC Public Health	Comprehensive assessment of Metabolic Syndrome among Rural Bangladeshi Women.	Jesmin S, Mia S, Islam AMS, Islam R, Sultana SN, Zaedi S, Yamaguchi N, Iwashima Y, Hiroe M.	救急・集中治療診療グループ
International Heart Journal	Coronary Artery CT Low-Density Plaque Area and Its Ratio to the Whole Area of a Non-Calcified Plaque at the Culprit Lesion in Patients with Unstable and Stable Coronary Artery Disease.	Moroi M, Nakazato R, Jesmir S, Akter S, Kunimasa T, Masai H, Furuhashi T, Fukuda H, Koda E, Sugi K.	救急・集中治療診療グループ
Clinical and Applied Thrombosis/Hemostasis	Disseminated intravascular coagulation (DIC) at an early phase of trauma continuously proceeds to DIC at a late phase of trauma.	Murakami H, Gando S, Mineji H, Sawamura A, Sugano M, Uegaki S, Jesmin S.	救急・集中治療診療グループ
Inflammation	Time-dependent alterations of VEGF and its signaling molecules in acute lung injury in a rat model of sepsis.	Jesmin S, Zaedi S, Islam AM, Sultana SN, Iwashima Y, Wada T, Yamaguchi N, Hiroe M, Gando S.	救急・集中治療診療グループ
Inflammation	Angiogenic factors and their soluble receptors for predicting organ dysfunction in disseminated intravascular coagulation associated with sepsis.	Jesmin S, Wada T, Gando S, Sultana SN, Zaedi S.	救急・集中治療診療グループ
Aviat Space Environ Med	An exercise protocol designed to control energy expenditure for long-term space missions.	Matsuo T, Ohkawara K, Seino S, Shimojo N, Yamada S, Ohshima H, Tanaka K, Mukai C.	救急・集中治療診療グループ
J Immunol	Suppressor of cytokine signaling 1 DNA administration inhibits inflammatory and pathogenic responses in autoimmune myocarditis.	Tajiri K, Imanaka-Yoshida K, Matsubara A, Tsujimura Y, Hiroe M, Naka T, Shimojo N, Sakai S, Aonuma K, Yasutomi Y.	救急・集中治療診療グループ
Critical Care	Angiogenic factors and their soluble receptors predict organ dysfunction and mortality in post-cardiac arrest syndrome.	Wada T, Jesmin S, Gando S, Yanagida Y, Mizugaki A, Sultana SN, Zaedi S, Yokota H.	救急・集中治療診療グループ
Life Sci	Increased plasma levels of big-endothelin-2 and big-endothelin-3 in patients with end-stage renal disease.	Miyauchi Y, Sakai S, Maeda S, Shimojo N, Watanabe S, Honma S, Kuga K, Aonuma K, Miyauchi T.	救急・集中治療診療グループ
Life Sci	Endothelin-1-induced cardiomyocyte hypertrophy is partly regulated by transcription factor II-F interacting C-terminal domain phosphatase of RNA polymerase II.	Sakai S, Kimura T, Wang Z, Shimojo N, Maruyama H, Homma S, Kuga K, Yamaguchi I, Aonuma K, Miyauchi T.	救急・集中治療診療グループ
Kaku Igaku	Measurement of cerebral blood flow with ^{99m} Tc-ECD SPECT and its potential clinical implications--analyzing the relationships between CBF and lifestyle disease.	Nemoto H, Nakai Y, Hatakeyama R, Shikano N, Jesmin S, Yamaguchi N.	救急・集中治療診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
BMC Res Notes	Cardiorespiratory fitness level correlates inversely with excess post-exercise oxygen consumption after aerobic-type interval training.	Matsuo T, Ohkawara K, Seino S, Shimojo N, Yamada S, Ohshima H, Tanaka K, Mukai C.	救急・集中治療診療グループ
BMC Nutrition and Metabolism	Association of age at menarche with metabolic syndrome and its components in rural Bangladeshi women.	Akter S, Jesmin S, Islam MM, Sultana SN, Okazaki O, Hiroe M, Moroi M, Mizutani T.	救急・集中治療診療グループ
Thrombosis Research	A low TAFI activity and insufficient activation of fibrinolysis by both plasmin and neutrophil elastase promote organ dysfunction in disseminated intravascular coagulation associated with sepsis.	Hayakawa M, Sawamura A, Gando S, Jesmin S, Naito S, Ieko M.	救急・集中治療診療グループ
Critical Care	Using angiogenic factors and their soluble receptors to predict organ dysfunction in patients with disseminated intravascular coagulation associated with severe trauma.	Wada T, Jesmin S, Sultana S.N, Zaedi S, Gando S, Yokota H.	救急・集中治療診療グループ
日本臨床麻酔学会誌	封入体筋炎患者の麻酔管理.	中野雅之, 佐津前剛, 水谷太郎, 木村麻衣子, 徳若純子, 田中誠.	救急・集中治療診療グループ
日本臨床救急医学会雑誌	日本におけるフッ化水素酸化学熱傷報告の治療方法に関する文献的考察.	佐々木千裕, 安田貢, 萩谷圭一, 下條信成, 河野了, 鬼澤沙織, 中村泰大, 水谷太郎.	救急・集中治療診療グループ
日本臨床救急医学会雑誌	茨城県北部地区メディカルコントロール協議会における病院外心肺停止患者に対する救命活動と事後検証.	藤江敬子, 安田貢, 橋本幸一, 中田由夫, 原田義則, 水谷太郎.	救急・集中治療診療グループ
日本整形外科スポーツ医学会誌	4年間のオリンピックサイクルにおける男子バレーボールナショナルチームの疾患調査.	西野衆文, 林光俊, 橋本吉登.	救急・集中治療診療グループ
日本整形外科スポーツ医学会誌	バレーボール選手に発症した下肢疲労骨折の特徴～某大学男女チームの受診調査から～.	西野衆文, 坂根正孝, 今給黎直明, 林光俊.	救急・集中治療診療グループ
東日本整形災害外科学会雑誌	播種性黄色腫症に伴う両股関節症に対して人工股関節全置換術を行った1例.	谷口悠, 西野衆文, 三島初, 落合直之.	救急・集中治療診療グループ
日本整形外科スポーツ医学会雑誌	ヒラメ筋肉離れ後の血腫増大により重症化したバレーボール選手の1例.	西田雄亮, 西野衆文, 林光俊.	救急・集中治療診療グループ
Hip Joint	救急・集中治療部医師による周術期管理は大腿骨近位部骨折患者の合併症頻度および短期生命予後を変えるか.	竹橋広倫, 西野衆文, 三島初, 落合直之.	救急・集中治療診療グループ
整形・災害外科	大腿骨近位部の転移性骨腫瘍に対する腫瘍用人工骨頭置換術の成績.	滑川博紀, 西野衆文, 清水如代.	救急・集中治療診療グループ
整形・災害外科	大腿骨近位部の転移性骨腫瘍に対する腫瘍用人工骨頭置換術の成績.	熊谷洋, 西野衆文, 鎌田浩史, 三島初, 落合直之.	救急・集中治療診療グループ
骨折	地方救急救命センターにおける重症骨盤骨折治療への取り組みと成績.	柳澤洋平, 上杉雅文, 西野衆文, 会田育男.	救急・集中治療診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
日本人工関節学会雑誌	Perfix 910システムの短期成績～骨質不良例も含めて～.	柳澤洋平, 西野衆文, 三島初, 落合直之.	救急・集中治療診療グループ
Appl Radiat Isot	The status of tsukuba bnct trial: Bpa-based boron neutron capture therapy combined with x-ray irradiation	Yamamoto T, Nakai K, Nariai T, Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res	Prognosis was not deteriorated by multiple primary cancers in esophageal cancer patients treated by radiotherapy	Shirai K, Tamaki Y, Kitamoto Y, Murata K, Satoh Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Resumption of jrr-4 and characteristics of neutron beam for BNCT	Nakamura T, Horiguchi H, Kishi T, Motohashi J, Sasajima F, Kumada H	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Boron neutron capture therapy combined with fractionated photon irradiation for glioblastoma: A recursive partitioning analysis of BNCT patients	Nakai K, Yamamoto T, Aiyama H, Takada T, Yoshida F, Kageji T, Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Multistep lattice-voxel method utilizing lattice function for monte-carlo treatment planning with pixel based voxel model	Kumada H, Saito K, Nakamura T, Sakae T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Investigation of irradiation conditions for recurrent breast cancer in jrr-4	Horiguchi H, Nakamura T, Kumada H, Yanagie H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res	Risk factors for rectal bleeding associated with i-125 brachytherapy for prostate cancer	Harada K, Ishikawa H, Saito Y, Nakamoto S, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Prot Dosimetry	Feasibility study on using imaging plates to estimate thermal neutron fluence in neutron-gamma mixed fields	Fujibuchi T, Tanabe Y, Sakae T, Terunuma T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Prot Dosimetry	Induced radioactive nuclides of 10-mev radiotherapy accelerators detected by using a portable hp- T, Katoh K	Fujibuchi T, Obara S, Yamaguchi I, Oyama M, Watanabe H, Sakae T, Katoh K	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	A clinical trial protocol for second line treatment of malignant brain tumors with BNCT at University of Tsukuba	Aiyama H, Nakai K, Yamamoto T, Nariai T, Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res	In vitro stemness characterization of radio-resistant clones isolated from a medulloblastoma cell lines-76	Sun L, Moritake T, Zheng YW, Suzuki K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Thromb Res	Incidence of venous thromboembolism before treatment in cervical cancer and the impact of management on venous thromboembolism after commencement of treatment	Satoh T, Matsumoto Y, Tanaka Y, Akiyama A, Nakao S, Sakurai M, Ochi H, Onuki M, Minaguchi T, Sakurai H, Yoshikawa H	放射線腫瘍科診療グループ
Acta Oncologica	Proton beam therapy for unresectable hepatoblastoma in children: Survival in one case	Oshiro Y, Okumura T, Mizumoto M, Fukushima T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Strahlentherapie und Onkologie	Proton beam therapy for malignancy in bloom syndrome.	Mizumoto M, Hashii H, Senarita M, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Acta Oncol	Dose-volume histogram analysis for risk factors of radiation-induced rib fracture after hypofractionated proton beam therapy for hepatocellular carcinoma	Kanemoto A, Mizumoto M, Okumura T, Takahashi H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Biol	Lineal energy-based evaluation of oxidative DNA damage induced by proton beams and x-rays	Hong Z, Kase Y, Moritake T, Gerelchuluun A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol	Comparison of the effects of high-energy photon beam irradiation (10 and 18 mv) on 2 types of implantable cardioverter-defibrillators	Hashii H, Hashimoto T, Okawa A, Shida K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Insufficiency fractures after pelvic radiation therapy for uterine cervical cancer: An analysis of subjects in a prospective multi-institutional trial, and cooperative study of the japan radiation oncology group(jarog) and japanease radiation oncology study group(JROSG)	Tokumaru S, Toita T, Oguchi M, Ohno T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Brachytherapy	Comparison of efficacy and safety of low-dose rate versus high-dose rate intraluminal brachytherapy boost in patients with superficial esophageal cancer	Tamaki T, Ishikawa H, Takahashi T, Tamaki Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Neurooncol	Immunohistochemical detection of idh1 mutation, p53, and internexin as prognostic factors of glial tumors	Takano S, Kato Y, Yamamoto T, Kaneko M, Ishikawa E, Tsujimoto Y, Matsuda M, Nakai K, Yanagiya R, Morita S, Tsuboi K, Matsumura A	放射線腫瘍科診療グループ
Anticancer Res	Biochemical failure after carbon ion radiotherapy cancer	Shimazaki J, Tsuji H, Ishikawa H, Kamada T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Hand Surg Am	Effect of platelet-rich plasma with fibrin matrix on healing of intrasynovial flexor tendons	Sato D, Takahara M, Narita A, Yamakawa J, Hashimoto J, Ishikawa H, Ogino T	放射線腫瘍科診療グループ
Radiation technology	Comparison of diffusion tensor imaging-derived fractional anisotropy in multiple centers for identical human subjects	Saotome K, Ishimori Y, Isobe T, Satou E, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Med Phys	Point/counterpoint: We do not need randomized clinical trials to demonstrate the superiority of proton therapy	Sakurai H, Robert Lee W, Orton CG	放射線腫瘍科診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo)	Preoperative endovascular embolization for hemangioblastoma in the posterior fossa	Sakamoto N, Ishikawa E, Nakai Y, Akutsu H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Journal of Hepatology	The mode of hepatitis e virus infection in primary-cultured human hepatocytes	Oshiro Y, Yasue H, Hattori S, Sakai K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Exp Rev Med Devices	The use of proton-beam therapy in the treatment of nscle	Oshiro Y, Sakurai H	放射線腫瘍科診療グループ
J Thorac Oncol	Results of proton beam therapy without concurrent chemotherapy for patients with unresectable stage iii non-small cell lung cancer	Oshiro Y, Mizumoto M, Okumura T, Hashimoto T, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Jpn J Clin Oncol	Analysis of intravesical recurrence after bladder-preserving therapy for muscle-invasive bladder cancer	Onozawa M, Miyanaga N, Hinotsu S, Miyazaki J, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Oncol	Designed-seamless irradiation technique (d-slit) for extended whole mediastinal proton-beam irradiation for esophageal cancer	Okonogi N, Hashimoto T, Ishida M, Ohno T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Med Case Rep	A seven-year disease-free survivor of malignant pleural mesothelioma treated with hyperthermia and chemotherapy: A case report	Okonogi N, Ebara T, Ishikawa H, Yoshida D, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Medical Imaging Radiat Oncol	Correlation between pennation angle and image quality of skeletal muscle fibre tractography using deterministic diffusion tensor imaging	Okamoto Y, Okamoto T, Yuza K, Hirano Y, Isobe T, Minami M	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Rectal bleeding after high-dose-rate brachytherapy combined with hypofractionated external-beam radiotherapy for localized prostate cancer: The relationship between dose-volume histogram parameters and the occurrence rate	Okamoto M, Ishikawa H, Ebara T, Kato H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Solid State Communications	Iron-platinum-arsenide superconductors $Ca_{10}(Pt_{n+8}Fe_{2-x}Pt_{x+2})_5$	Nohara M, Kakiya S, Kudo K, Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Jpn J Clin Oncol	Long-term follow-up of a randomized phase II study of cisplatin/5-fluorouracil concurrent chemoradiotherapy for esophageal cancer (KROSG0101/JROSG021)	Nishimura Y, Hiraoka M, Koike R, Nakamatsu K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo)	Multimodality treatment for cerebral arteriovenous malformations: Complementary role of proton beam radiotherapy	Nakai Y, Ito Y, Sato M, Nakamura K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Strain-dependent damage in mouse lung after carbon ion irradiation	Moritake T, Fujita H, Yanagisawa M, Nakawatari M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Evaluation of liver function after proton beam therapy for hepatocellular carcinoma	Mizumoto M, Okumura T, Hashimoto T, Fukuda K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Brain Res	Development of the dorsal ramus of the spinal nerve in the chick embryo: A close relationship between development and expression of guidance cues	Masuda T, Sakuma C, Taniguchi M, Kanemoto A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Academic Radiology	Proton mr spectroscopy of central neurocytoma using short and long echo time: New proofs for the existence of glycine and glutamate	Lim M, Yue Q, Isobe T, Matsumura A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Virchows Archiv	Etiological factors in primary hepatic b-cell lymphoma	Kikuma K, Watanabe J, Oshiro Y, Shimogama T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Oncol	Long-term results of curative intraluminal high dose rate brachytherapy for endobronchial carcinoma	Kawamura H, Ebara T, Katoh H, Tamaki T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Jpn J Clin Oncol	Proton beam therapy for inoperable recurrence of bronchial high-grade mucoepidermoid carcinoma	Kanemoto A, Oshiro Y, Sugahara S, Kamagata S, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Academic Radiology	Measurement of focal ground-glass opacity diameters on ct images: Interobserver agreement in regard to identifying increases in the size of ground-glass opacities	Kakinuma R, Ashizawa K, Kuriyama K, Fukushima A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Urol	Carbon-ion radiation therapy for prostate cancer	Ishikawa H, Tsuji H, Kamada T, Akakura K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Endoscopy	Endoscopic mucosal resection of inflammatory fibroid polyp in the transverse colon	Ishibashi H, Aoyagi K, Kobayashi H, Kurahara K, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiat Oncol	Influence of secondary neutrons induced by proton radiotherapy for cancer patients with implantable cardioverter defibrillators	Hashimoto T, Isobe T, Hashii H, Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Concurrent chemo-proton therapy using 5-fluorouracil and cisplatin for esophageal cancer	Hashimoto T, Ishikawa H, Okumura T, Makishima H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res	Risk factors for rectal bleeding associated with i-125 brachytherapy for prostate cancer	Harada K, Ishikawa H, Saito Y, Nakamoto S, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Lung Cancer	Verification of beam delivery using fibrosis after proton beam irradiation to the lung tumor	Fukumitsu N, Oshiro Y, Hashimoto T, Okumura T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Outcome of t4 (international union against cancer staging system, 7th edition) or recurrent nasal cavity and paranasal sinus carcinoma treated with proton	Fukumitsu N, Okumura T, Mizumoto M, Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
J Radiat Res	Reproducibility of image quality for moving objects using respiratory-gated computed tomography -a study using phantom model-	Fukumitsu N, Ishida M, Terunuma T, Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Investigation of the geometric accuracy of proton beam irradiation the liver	Fukumitsu N, Hashimoto T, Okumura T, Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Pharmacogenomics J. 13(1):27-34, 2013	DPP6 as a candidate gene for neuroleptic-induced tardive dyskinesia.	有波忠雄	遺伝診療グループ
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet. 159B(1):30-37, 2012	Association of SNPs linked to increased expression of SLC1A1 with schizophrenia.	有波忠雄	遺伝診療グループ
PLoS One. 7(8):e42855, 2012	Generation of induced pluripotent stem cells from human nasal epithelial cells using a Sendai virus vector.	有波忠雄 野口恵美子	遺伝診療グループ
J Hum Genet. 57(2):109-114, 2012	Association of adiponectin polymorphism with cord blood adiponectin concentrations and intrauterine growth.	野口恵美子 有波忠雄	遺伝診療グループ

小計14件

合計450件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
管理担当者氏名	医療情報部長 大原信 薬剤部長(事務取扱) 玉岡晃 病院総務部総務課長 富田有一、医事課長 坂本泰敏

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書	医療情報部 薬剤部 総務課	紙カルテは1患者1ファイルによ り、医療情報部の病歴室で、電 子化後は医療情報部サーバ室の サーバで管理している。 エックス線写真等も医療情報部 で一括して保管している。
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	総務課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課、医事課
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課
入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
第規 一則 号第 一掲 条の 十 体一 制第 一確 保各 号状 及び 第九 条の 二十 三第 一 項	医療に係る安全管理のため の指針の整備状況	臨床医療管理部
	医療に係る安全管理のため の委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会
	医療に係る安全管理のため の職員研修の実施状況	臨床医療管理部
	医療機関内における事故 報告等の医療に係る安全 の確保を目的とした改善 のための方策の状況	臨床医療管理部
	専任の医療に係る安全管 理を行う者の配置状況	臨床医療管理部
	専任の院内感染対策を 行う者の配置状況	感染管理部
	医療に係る安全管理を 行う部門の設置状況	臨床医療管理部
当該病院内に患者からの 安全管理に係る相談に適 切に応じる体制の確保状 況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 富田有一、医事課長 坂本泰敏
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	87.2%	算定期間	平24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数	15,466人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,923人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,864人	
	D：初診の患者の数	21,159人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 医療の安全に関する教育研修を実施する。など	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 以下の事項を審議する。 ・ 医療に係る安全管理体制に関すること。 ・ 医療に係る安全管理のための指針の作成及び見直しに関すること。 ・ 医療事故を防止するための医療従事者に対する啓発に関すること。 ・ 医療事故等に係る患者、家族等への対応に関すること。 ・ 医療事故等が発生した場合の原因の分析並びに改善策の立案、実施及び周知に関する こと。など	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 30 回
・ 研修の主な内容： 法令及び研修目的に沿ったものとする。必要に応じて、感染対策、医薬品、医療機器の 安全管理に関する内容を含める。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の 状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療行為の手順をエビデンスに基づいて改善する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (5) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確 保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理部の設置 職員研修 院内感染対策が必要な病原体の検出状況の情報伝達 院内感染発生時の対応 院内感染対策マニュアル 患者への情報提供と説明 その他の医療機関内における院内感染対策の推進	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： カテーテル感染の予防と対策／院内感染対策の基本（12回開催） インフルエンザの感染対策（12回開催）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理部から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 組織リスクマネージャー連絡会議で、感染対策委員会での報告・決定事項を各診療科、各単位のリスクマネージャーへ連絡、リスクマネージャーから各スタッフへ連絡	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修(第1期)」において、「カテーテルと薬物投与」をテーマに、資料を用いて説明を行った。 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修(第2期)」において、「抗血栓薬の休薬に関するガイドライン」をテーマに、資料を用いて説明を行った。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)業務の主な内容：院内巡視にて実施状況を確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">製薬企業MRからの情報収集医薬品医療機器総合機構からのメール受信(医薬品医療機器情報配信サービス)個人のメールボックスへの印刷物の配布(薬剤部からのお知らせ等)院内メールによる情報配信薬剤部内の朝礼による周知薬剤部HPにおける情報提供	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年114回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 医療機器の安全使用（モニターアラームの適切な運用） 1回（全職員対象）（延べ9回実施）</p> <p>(2) AEDの安全使用 4回（全職員対象）（延べ21回実施）</p> <p>(3) 除細動装置の安全使用（2機種） 5回（看護師職員・医師・臨床工学技士・放射線技師対象）</p> <p>(4) 閉鎖式保育器の安全使用 3回（看護師・助産師・臨床工学技士対象）</p> <p>(5) 人工心肺の安全使用 1回（臨床工学技士対象）</p> <p> 経皮的な心肺補助装置 1回（看護師・臨床工学技士対象）</p> <p> 大動脈内バルーンポンプ（2機種） 4回（看護師・臨床工学技士対象）</p> <p>(6) 血液浄化装置の安全使用（2機種） 5回（血液浄化療法部スタッフ対象）</p> <p>(7) 人工呼吸器の安全使用（7機種） 8回（看護師・助産師・医師・臨床工学技士対象）</p> <p>(8) 診療用高エネルギー放射線発生装置の使用法 2回（放射線技師対象）</p> <p>(9) 診療用放射線照射装置の使用法 2回（放射線技師対象）</p> <p>(10) 超音波手術装置 1回（看護師・医師対象）</p> <p>(11) 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全使用 4回（看護師、看護助手対象）</p> <p>(12) 超音波診断装置使用法（7機種） 12回（看護師・医師・臨床工学技士・臨床検査技師対象）</p> <p>(13) 心臓カテーテル装置使用法（2機種） 2回（臨床工学技士対象）</p> <p>(14) 自己血回収装置使用法（2機種） 2回（看護師・臨床工学技士対象）</p> <p>(15) 無影灯 5回（看護師・助産師・医師対象）</p> <p>(16) 分娩監視装置 4回（看護師・助産師・医師対象）</p> <p>(17) 高気圧酸素治療装置 1回（医師・臨床工学技士対象）</p> <p>(18) ポータブルFPD装置 2回（放射線技師対象）</p> <p>(19) A剤溶解装置 1回（看護師・医師・臨床工学技士対象）</p> <p>(20) 個人透析用ROシステム 1回（臨床工学技士対象）</p> <p>(21) 採血機 1回（看護師対象）</p> <p>(22) 加温加湿器 1回（看護師対象）</p> <p>(23) パルスオキシメータ 2回（看護師・医師対象）</p> <p>(24) 下肢静脈瘤治療用半導体レーザー 1回（看護師・医師・臨床工学技士対象）</p> <p>(25) 持続的自動気道陽圧ユニット 1回（臨床工学技士対象）</p> <p>(26) 血管内超音波検査装置 1回（臨床工学技士対象）</p> <p>(27) 動脈圧心拍出量計 1回（臨床工学技士対象）</p> <p>(28) 無菌装置 1回（看護師対象）</p> <p>(29) ペースメーカー 2回（臨床工学技士対象）</p> <p>(30) 歯科用ユニット 1回（医師・歯科医師・歯科衛生士対象）</p> <p>(31) X線一版撮影装置 1回（放射線技師対象）</p> <p>(32) 血漿融解装置（2機種） 2回（看護師・医師・検査技師対象）</p> <p>(33) セントラルモニタ、ベッドサイドモニタ、テレメータの使用法 3回（看護師、医師対象）</p>	

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

- ・ 計画の策定 (有・無)
- ・ 保守点検の主な内容：
各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。
具体的な方法は、計画の策定は医療機器管理センター所属の臨床工学技士が立案し、2月～3月に医療機器安全管理責任者が承認する。4月より承認された点検計画台帳に則り実施する。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。
- ・ 安全性情報は①PMDA②メーカーから収集。①は、PMDAの情報の中から、当院の医療機器管理メディクソン(クラウド)システムにより対象機器の情報を収集する。その後関係者に周知する。
- ・ 医療機器のインシデント、オカレンスは臨床医療管理部と協働により医療の安全を確保し、組織リスキマネージャー連絡会議で周知、資料を医療安全ファイルに綴じ職員に周知する。また、改善については検討後毎月21日に医療機器安全管理責任者と臨床医療管理部へ医療の安全確保状況を報告している。